
海陽町 教育振興計画策定に関する
アンケート調査
(保護者 B 票)

－ 報 告 書 －

令和７年１１月

海陽町 教育委員会

目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	2
1	あなたご自身について	2
①	居住地区	2
②	性別	2
③	年齢	3
④	職業	3
⑤	世帯構成	4
⑥	子どもが通っている教育機関	4
III	集計結果	5
1	学校教育や幼児教育について	5
問1	学校行事・PTA 活動への参加	5
問2	子どもの教育と地域のかかわりに必要なこと	7
問3	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について	8
問4	学校等の教育への協力	9
問4-1	協力したいこと・協力できること	10
問5	学校で身につけてほしいこと	13
問6	ICT 教育について	16
問7	グローバル社会で活躍するために必要な力	18
問8	将来の英語の生かし方について	20
問9	先生に対して重視していること	22
問10	学校・こども園に対する満足度	23
問11	家庭教育で重視していること	24
問12	子育てにおける家庭と学校の役割	25
問13	町の学校教育の特徴について	26
問14	町の学校教育で今後力を入れるべきこと	28
2	生涯学習について	31
問15	関心のある学習活動の分野	31
問16	阿波海南文化村に対する満足度	35
問17	阿波海南文化村で開催された行事への参加	36
問18	阿波海南文化村で体験・見学してみたいこと	37

3	防災教育について	-----	39
	問19 地震津波碑について	-----	39
	問19-1 地震津波碑を知ったきっかけ	-----	40
4	運動と健康について	-----	41
	問20 運動をする頻度	-----	41
	問20-1 運動をする理由	-----	42
	問20-2 運動をしない理由	-----	42
	問21 町主催の行事に対する参加状況・認知度	-----	43
	問22 町民のスポーツ・健康づくりを推進するには	-----	44
5	町内の小・中学校の現状について	-----	45
	問23 充実・改善してほしい学校の施設・設備について	----	45
	問24 児童・生徒の減少が子どもに与える影響	-----	48
	問25 学校再編・統合に関するご意見	-----	50
	問26 海陽町の学校教育に関するご意見	-----	52

I 調査の概要

- 1 調査時期：令和7年9月26日～10月10日
- 2 調査対象者：海南小学校、海部小学校、穴喰小学校、海陽中学校、穴喰中学校に通う児童・生徒の保護者（悉皆調査）
- 3 回収率等：

調査票	配布数	有効回収数	有効回収率
担任から児童・生徒を通じて保護者に配布	222 件	112 件	50.5% (うち、WEB 回答 49.1%)

4 報告書の見方について

- ・回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中に「未回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答条件に沿っていないものを含んでいます。
- ・グラフ及び表中の n（number of case）は、集計対象者総数です。

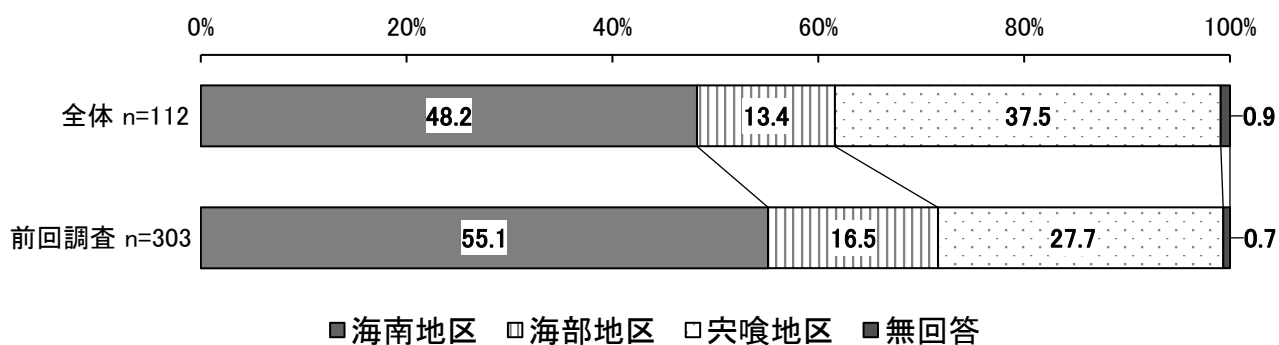
II 回答者の属性

1. あなたご自身について

① 居住地区 お住まいの地区はどこですか。小学校区でお答えください。(○は1つ)

居住地区は、「海南地区」48.2%、「海部地区」13.4%、「穴喰地区」37.5%となっています。

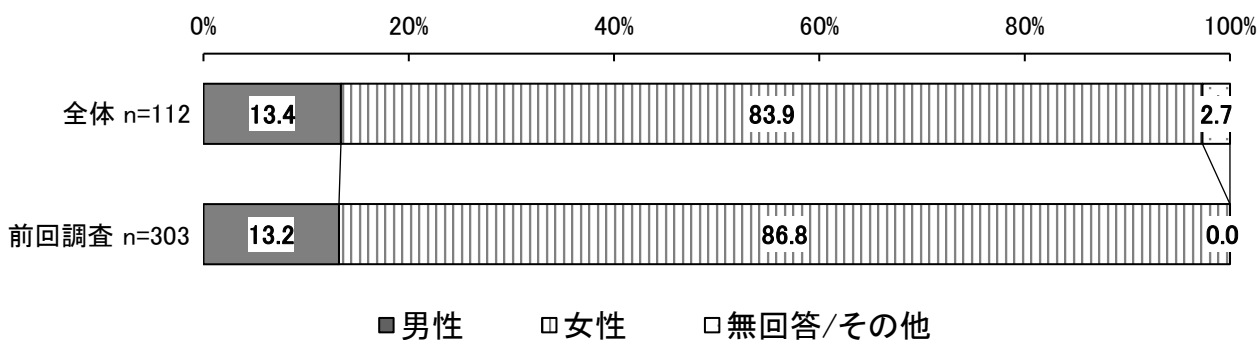
【全体・前回調査】



② 性別 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別は、「男性」13.4%、「女性」83.9%となっており、女性が70.5ポイント、男性を上回っています。

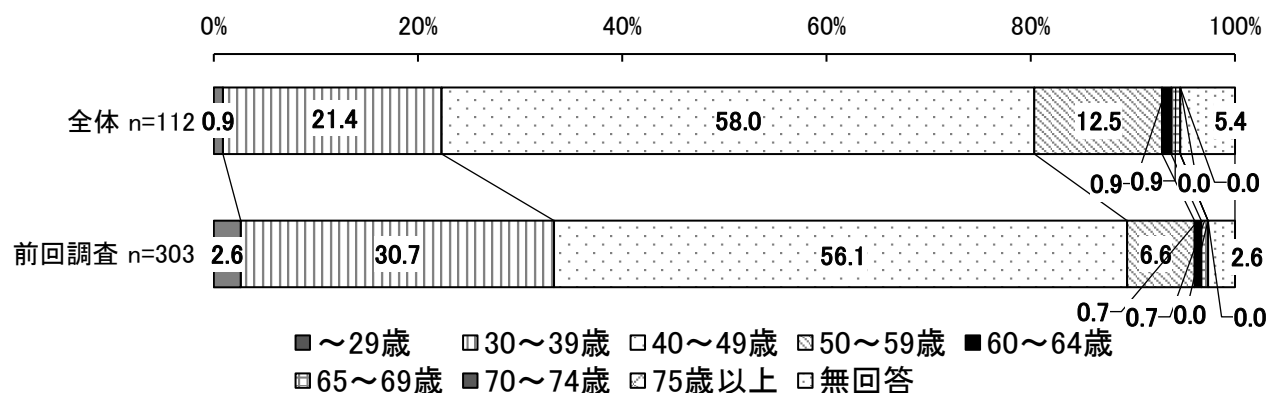
【全体・前回調査】



③ 年齢 あなた(記入者)の年齢をお答えください。(令和7年8月1日時点)(数字を記入)

年齢は、上位から「40～49歳」58.0%、「30～39歳」21.4%、「50～59歳」12.5%、「20～29歳」、「60～64歳」、「65歳～69歳」が0.9%などの順となっています。

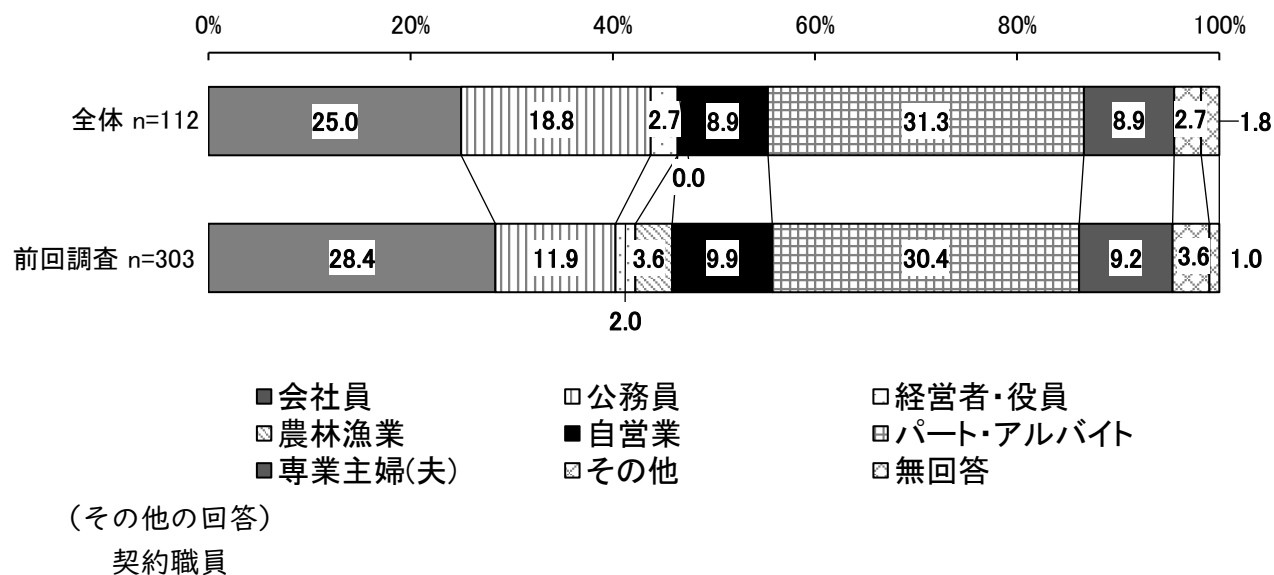
【全体・前回調査】



④ 職業 現在の職業をお答えください。(○は1つ)

職業は、上位から「パート・アルバイト」31.3%、「会社員」25.0%、「公務員」18.8%、「自営業」、「専業主婦(夫)」8.9%、「経営者・役員」2.7%となっています。

【全体・前回調査】

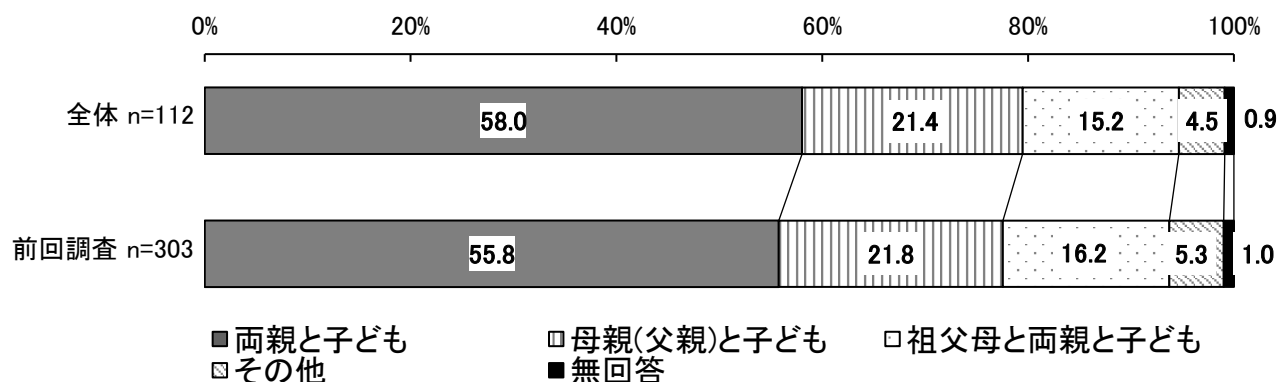


⑤ 世帯構成 あなたのご家族の世帯構成をお答えください。(○は1つ)

世帯構成は、上位から「両親と子ども」58.0%、「母親（父親）と子ども」21.4%、「祖父母と両親と子ども」15.2%となっています。

“核家族世帯”（「両親と子ども」と「母親（父親）と子ども」の合計）は79.4%となっています。

【全体・前回調査】



(その他の回答)

・ 祖父母と母親 ・ 祖母と子ども ・ 祖母と母と子ども ・ 祖母と父親と子ども

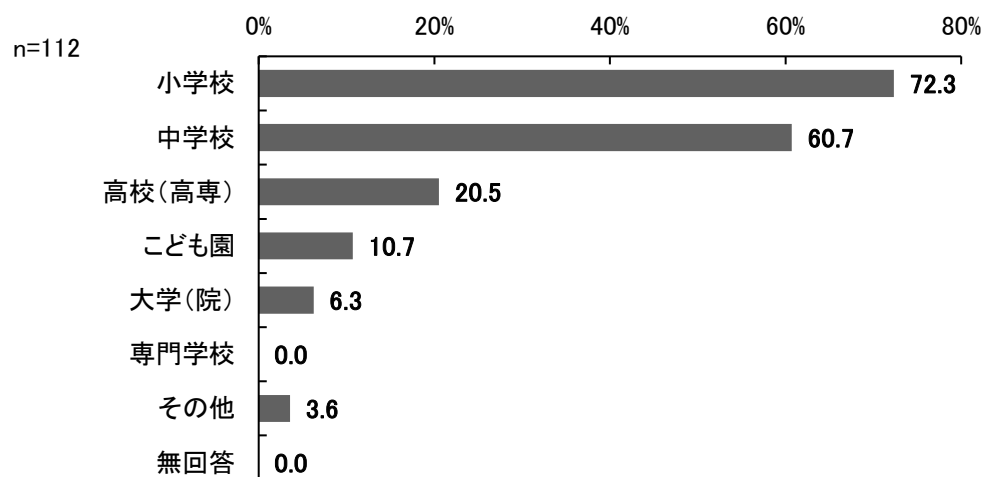
⑥ 子どもが通っている教育機関

あなたのお子さんが通っている教育機関をすべてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

子どもが通っている教育機関は、上位から「小学校」72.3%、「中学校」60.7%、「高校（高専）」20.5%、「こども園」10.7%、「大学（院）」6.3%となっています。

【全体】



(その他の回答)

・ 保育園 ・ 特別支援学校

集計結果

Ⅰ. 学校教育や幼児教育について

問Ⅰ 学校行事・PTA 活動への参加

あなたは、お子さんの学校等の行事（授業参観や運動会、文化祭など）や PTA 活動に参加していますか。（○は1つ）

学校行事や PTA 活動への参加状況は、全体では、“参加している”（「ほとんど参加している」と「時々参加している」の合計。以下同様）が 93.7%、“参加していない”（「あまり参加していない」と「まったく参加していない」の合計。以下同様）が 5.4%となっています。

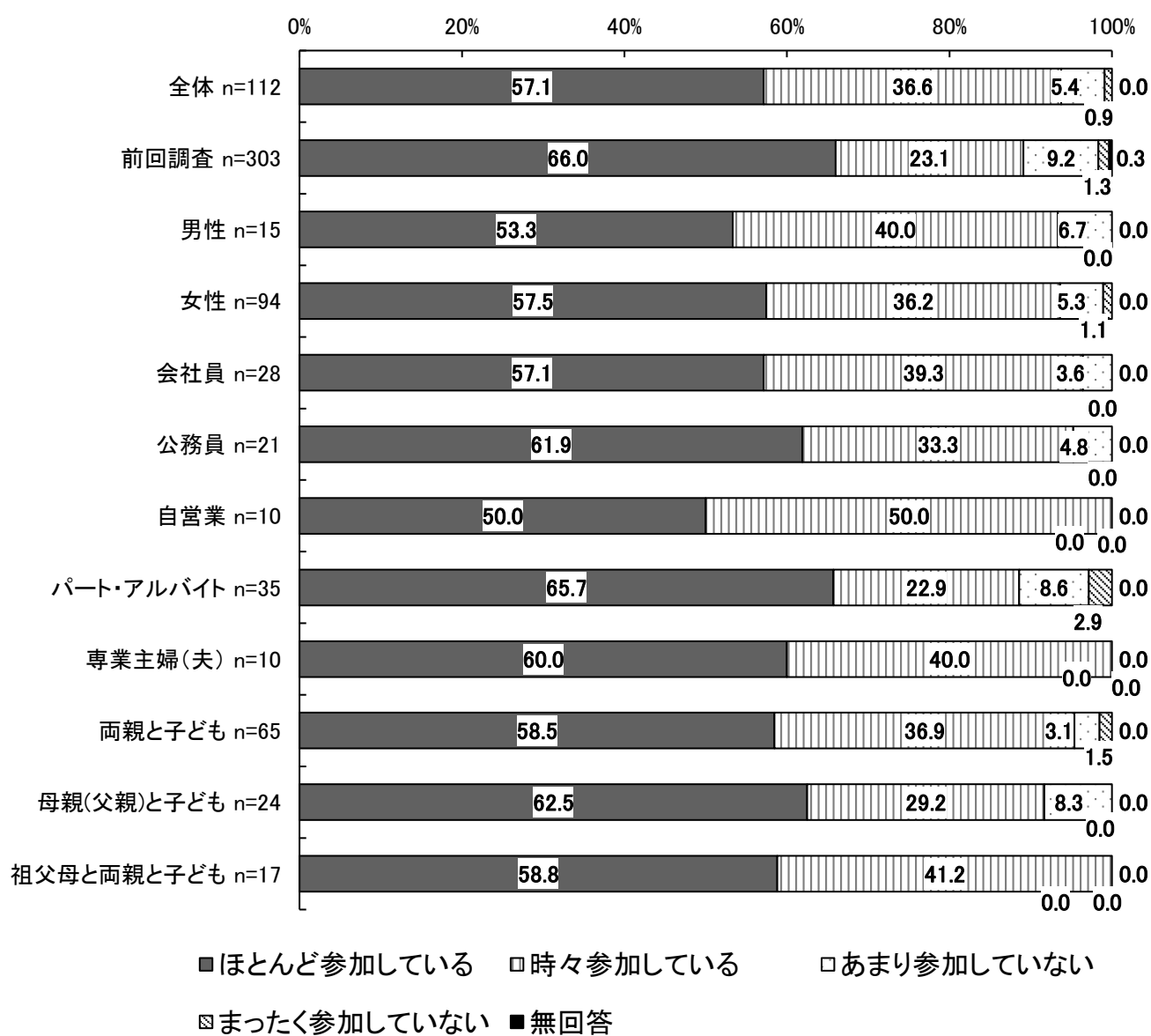
前回調査と比較すると、「ほとんど参加している」が 8.9 ポイント減少し、「時々参加している」が 13.5 ポイント増加しています。

性別でみると、“参加している”は、男性 93.3%、女性 93.7%であり、性別による大きな差はみられません。

職業別でみると、“参加している”が最も高いのは自営業（100.0%）で、最も低いのはパート・アルバイト（88.6%）となっています。

世帯別でみると、“参加している”が最も高いのは、祖父母と両親と子ども（100.0%）で、次いで両親と子ども（95.4%）、母親（父親）と子ども（91.7%）となっています。

【全体・前回調査・性別・職業・世帯構成】



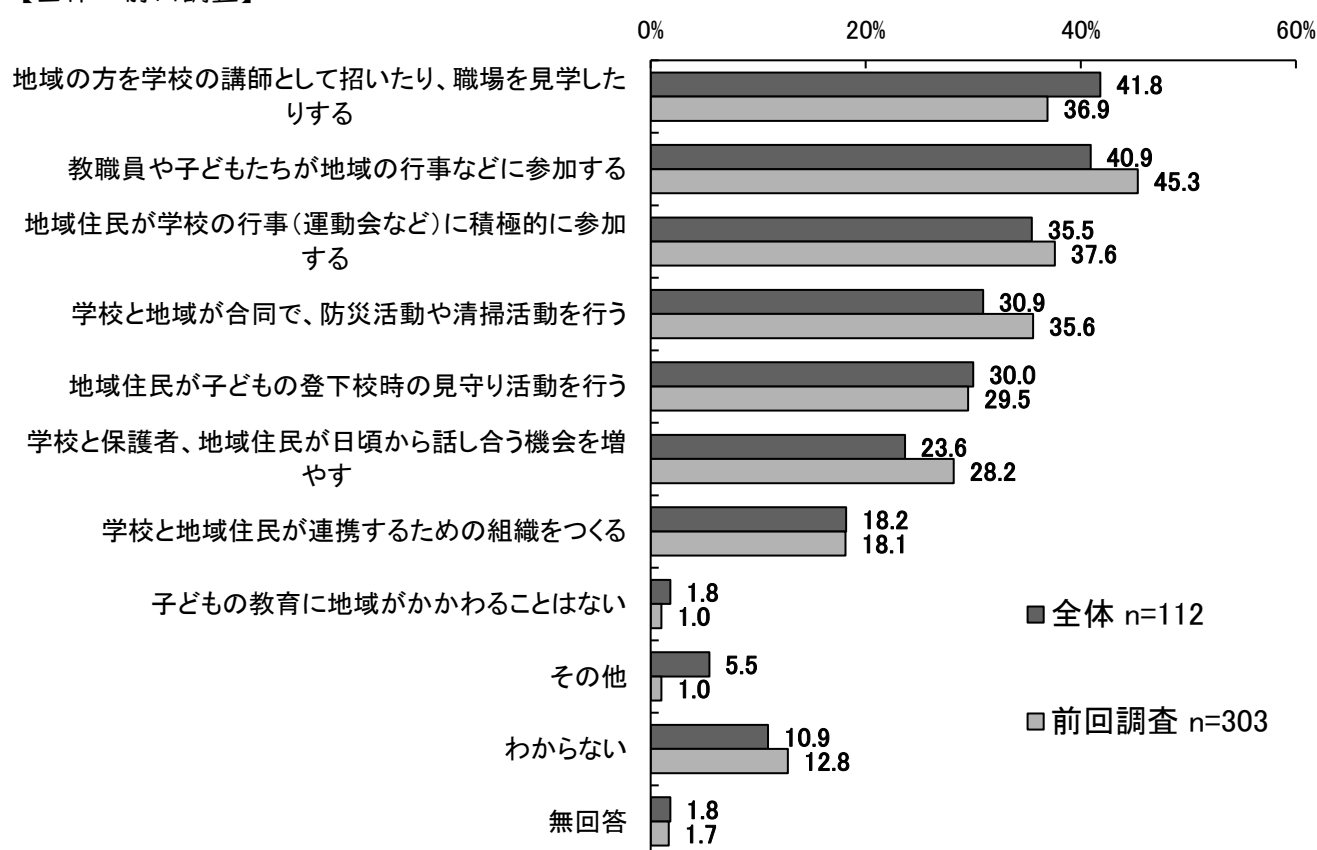
問2 子どもの教育と地域のかかわりに必要なこと

あなたは、子どもの教育と地域のかかわりについて、どのようなことが必要と思います
(あてはまるものすべてに○)

子どもの教育と地域のかかわりに必要なことは、上位から「地域の方を学校の講師として招いたり、職場を見学したりする」41.8%、「教職員や子どもたちが地域の行事などに参加する」40.9%、「地域住民が学校の行事(運動会など)に積極的に参加する」35.5%などの順となっています。50%を超えるものはなく、回答は多岐にわたっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・ 今で十分
- ・ 挨拶運動や交通安全活動
- ・ 学校から地域の人に協力してほしい
- ・ 活躍するOB(県内外問わず)の交流
- ・ 地域のお祭りに関わる
- ・ 登下校の見守りのように、学校としてできないこと、また教師の手の回らないことなどを地域に委託する。NPO法人など、専門的知識持つ人材が必要

問3 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について

あなたは、町内のすべての小・中学校で「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」を進めて、保護者や地域の方々が学校運営や子どもの育成に関わっていることを知っていますか。（〇は1つ）

※コミュニティ・スクール（学校運営協議会）とは

学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校の運営に意見を反映させることで、一緒に協力しながら子どもたちの豊かな成長を支える仕組みのことです。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会が設置します。

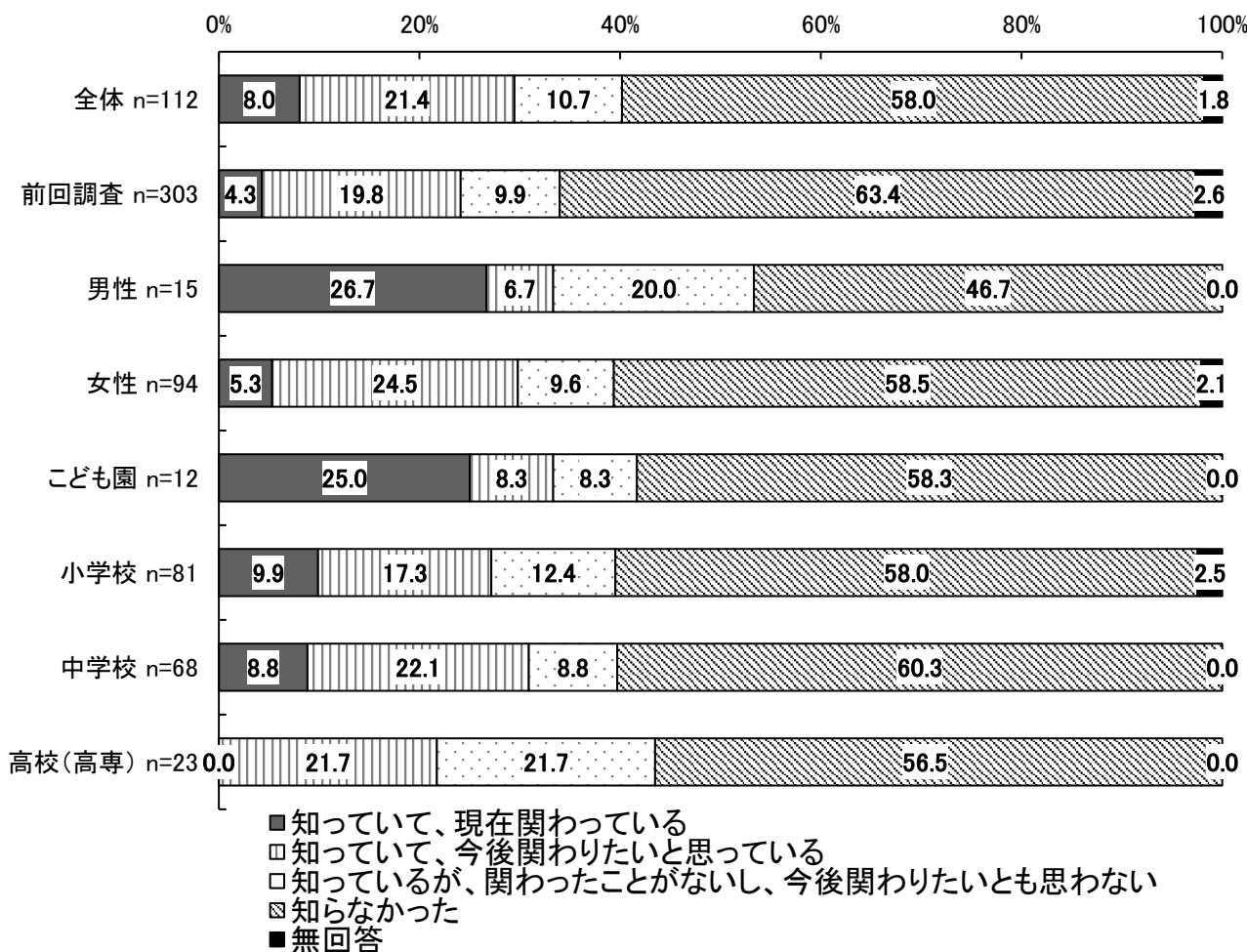
コミュニティ・スクールの認知度や参加状況について、全体では、上位から「知らなかった」58.0%、「知っている」（「知っていて、現在関わっている」と「知っていて、今後関わりたいと思っている」、「知っているが、関わったことがないし、今後関わりたいとも思わない」の合計。以下同様）が40.1%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」が6.1ポイント増加しています。

性別でみると、「知らなかった」は、男性46.7%、女性58.5%であり、女性が11.8ポイント、男性を上回っています。

教育機関別にみると、「知らなかった」は、こども園58.3%、小学校58.0%、中学校60.3%、高校（高専）56.5%となっています。

【全体・前回調査・性別・教育機関】



問4 学校等の教育への協力

あなたは、学校等の教育に関して、何か協力できる機会があれば協力したいと思いますか。
(〇は1つ)

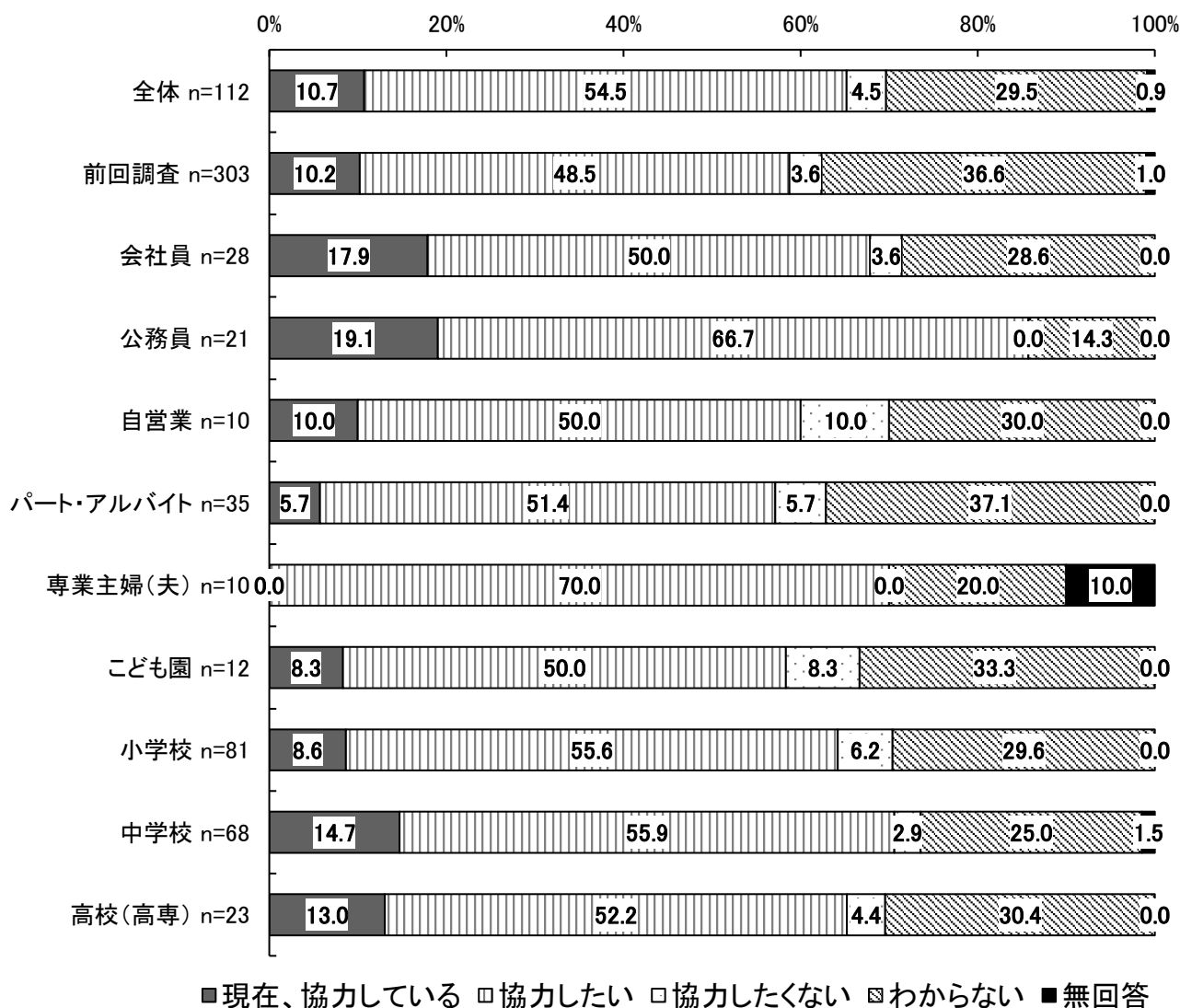
学校等の教育への協力について、全体では、“協力していきたい”（「現在、協力している」と「協力したい」の合計。以下同様）が65.2%、「協力したくない」が4.5%、「わからない」が29.5%となっています。

前回調査と比較すると、“協力していきたい”が6.5ポイント増加しています。

職業別でみると、“協力していきたい”は、上位から公務員（85.8%）、専業主婦（夫）（70.0%）、会社員（67.9%）、自営業（60.0%）、パート・アルバイト（57.1%）の順となっています。

教育機関別でみると、中学校で“協力していきたい”が最も高く、70.6%と7割を超えています。

【全体・前回調査・職業・教育機関】



問４－１ 協力したいこと・協力できること

問４で「１.」「２.」に○をつけた方におたずねします。

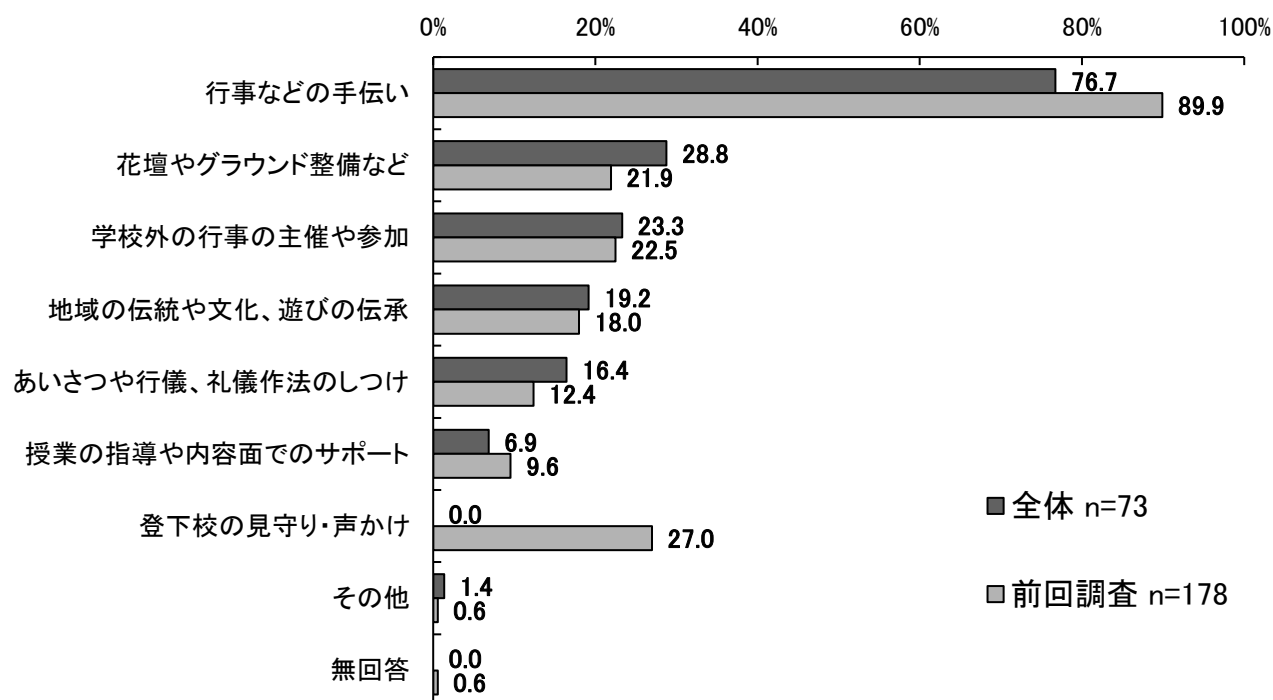
協力したいことや協力できることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

協力したいこと・協力できることは、全体では、上位から「行事などの手伝い」76.7%、「花壇やグラウンド整備など」28.8%、「学校外の行事の主催や参加」23.3%などの順となっています。

職業別にみると、すべての職業で最も高かったのが「行事などの手伝い」となっています。また、「花壇やグラウンド整備など」は専業主婦（夫）で最も高く42.9%、「学校外の行事の主催や参加」は公務員、自営業で最も高く33.3%となっています。

教育機関別にみると、すべての教育機関で「行事などの手伝い」が最も高く、次いで、こども園では「学校外の行事の主催や参加」、小学校では「登下校の見守り・声かけ」、中学校では「花壇やグラウンド整備など」の順となっています。

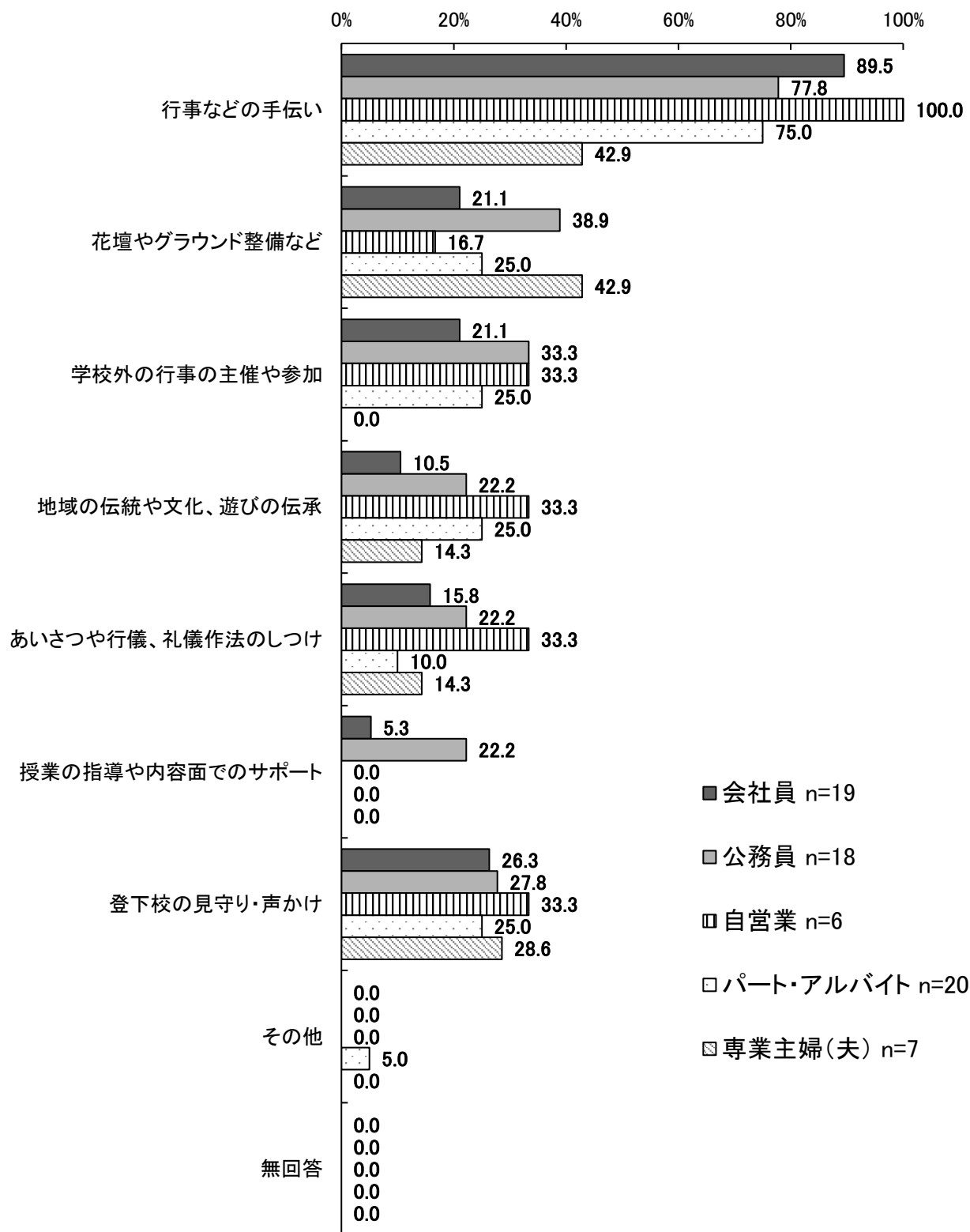
【全体・前回調査】



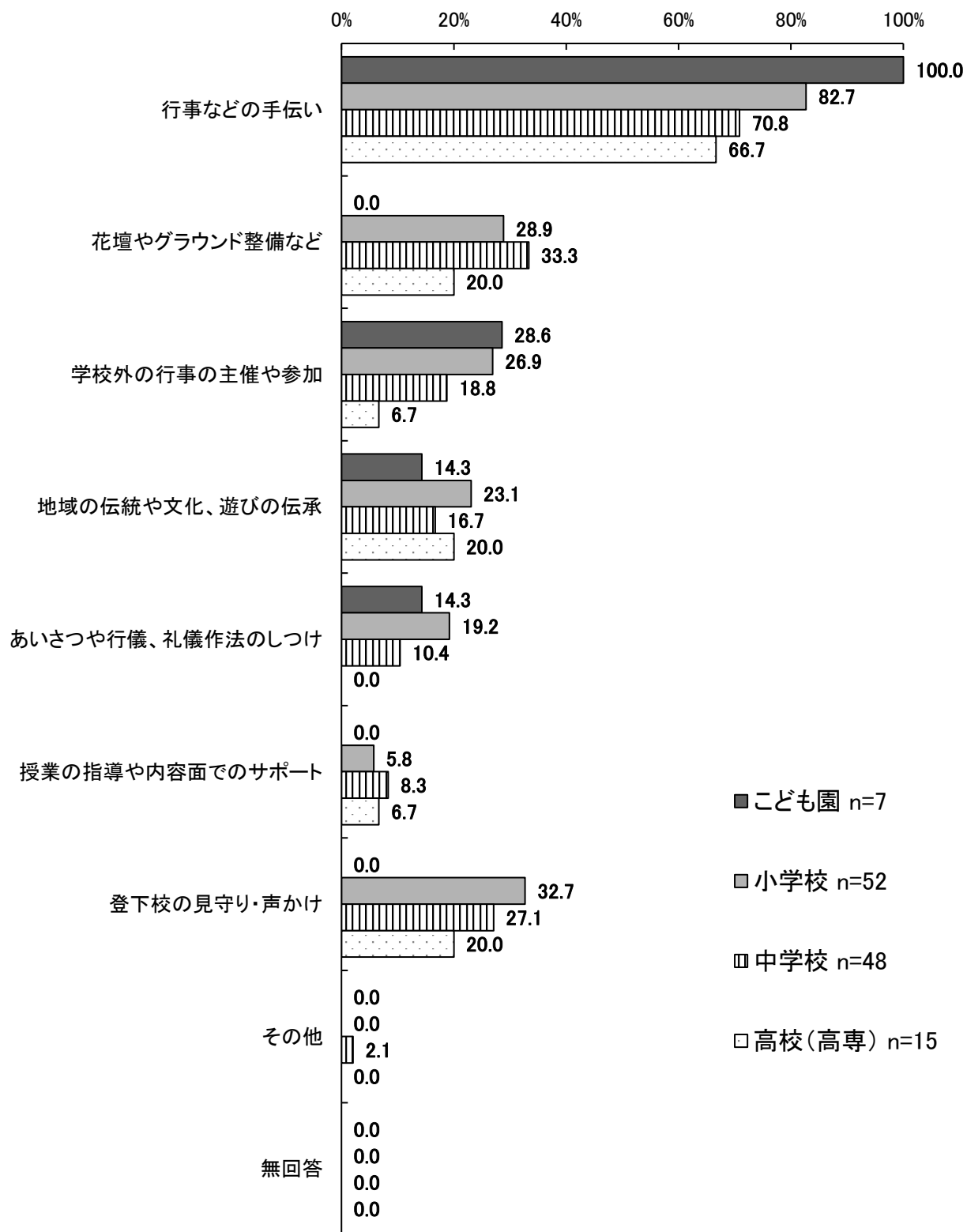
（その他の回答）

- ・ 種類は問わない、できることがあれば

【職業別】



【教育機関別】



問5 学校で身につけてほしいこと

お子さんに学校で身につけてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

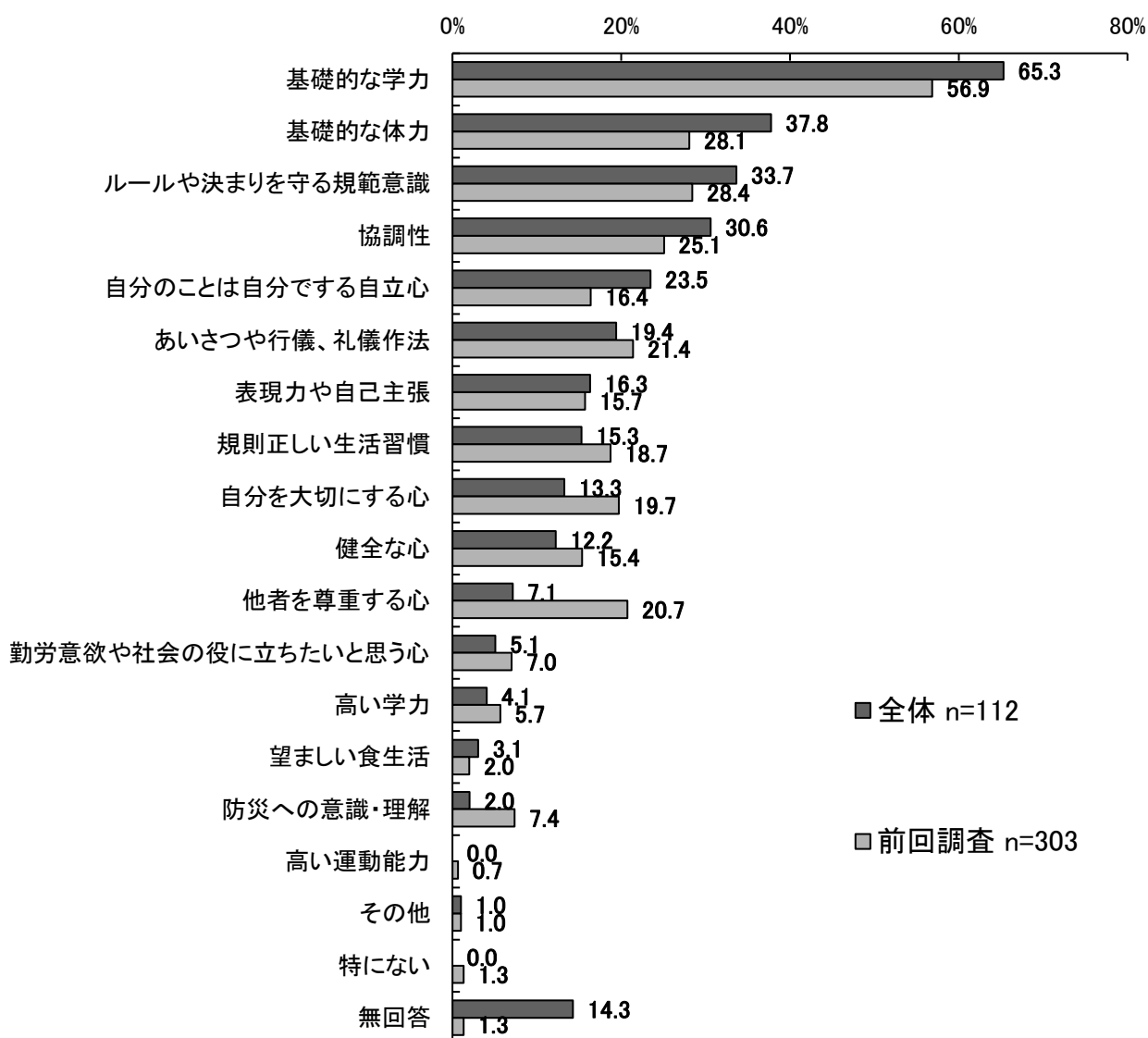
学校で身につけてほしいことは、全体では、上位から「基礎的な学力」65.3%、「基礎的な体力」37.8%「ルールや決まりを守る規範意識」33.7%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「基礎的な学力」が8.4ポイント、「基礎的な体力」が9.7ポイント増加している一方で、「他者を尊重する心」が13.6ポイント減少しています。

世帯別でみると、すべての世帯で「基礎的な学力」が最も高かったものの、祖父母と両親と子ども(76.5%)と母親(父親)と子ども(45.8%)では30.7ポイントの差があります。

教育機関別でみると、すべての教育機関で「基礎的な学力」が最も高いものの、中学校(63.2%)とこども園(50.0%)では13.2ポイントの差があります。「協調性」は、高校(高専)で43.5%と最も高く、こども園(16.7%)より26.8ポイント上回っています。

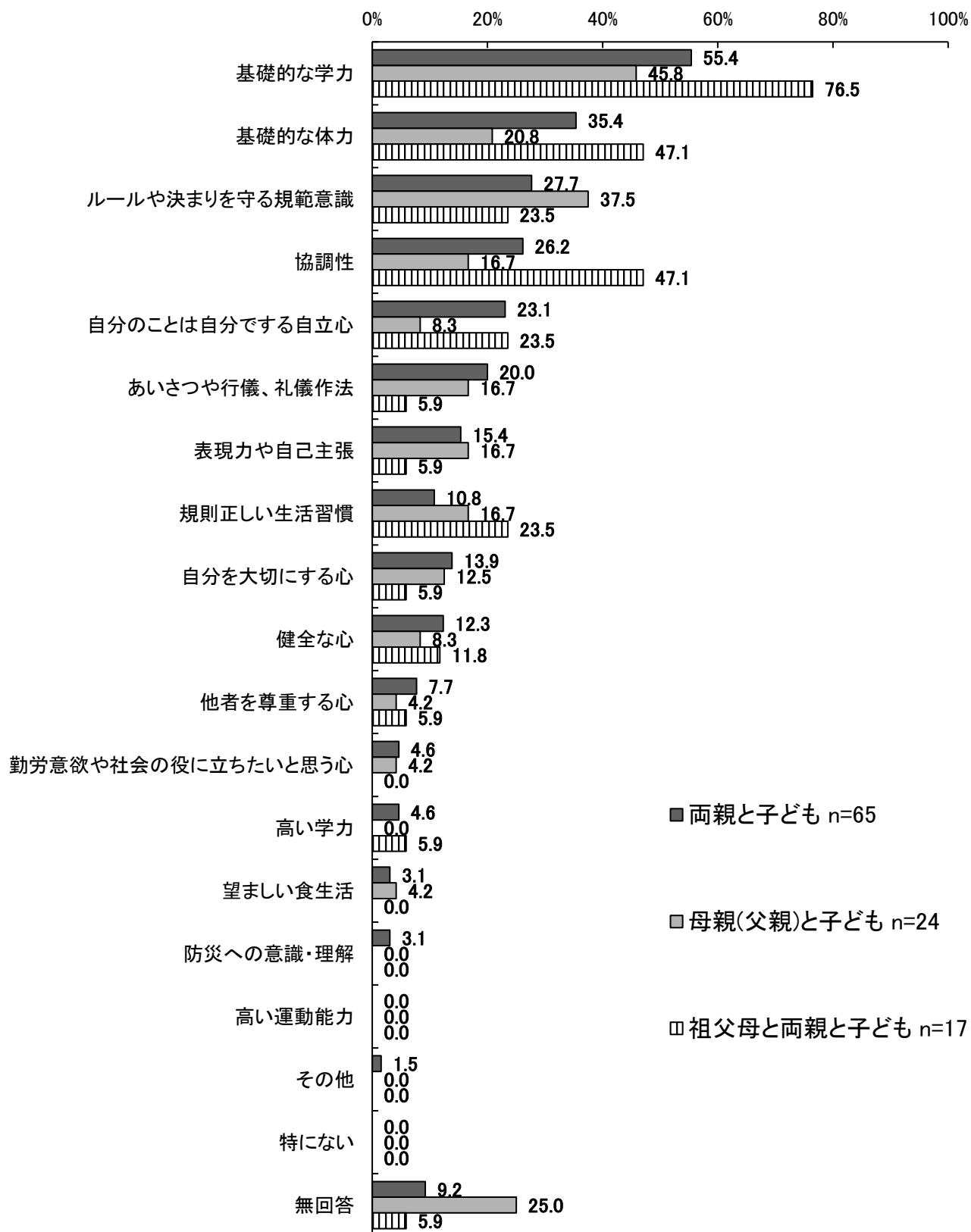
【全体・前回調査】



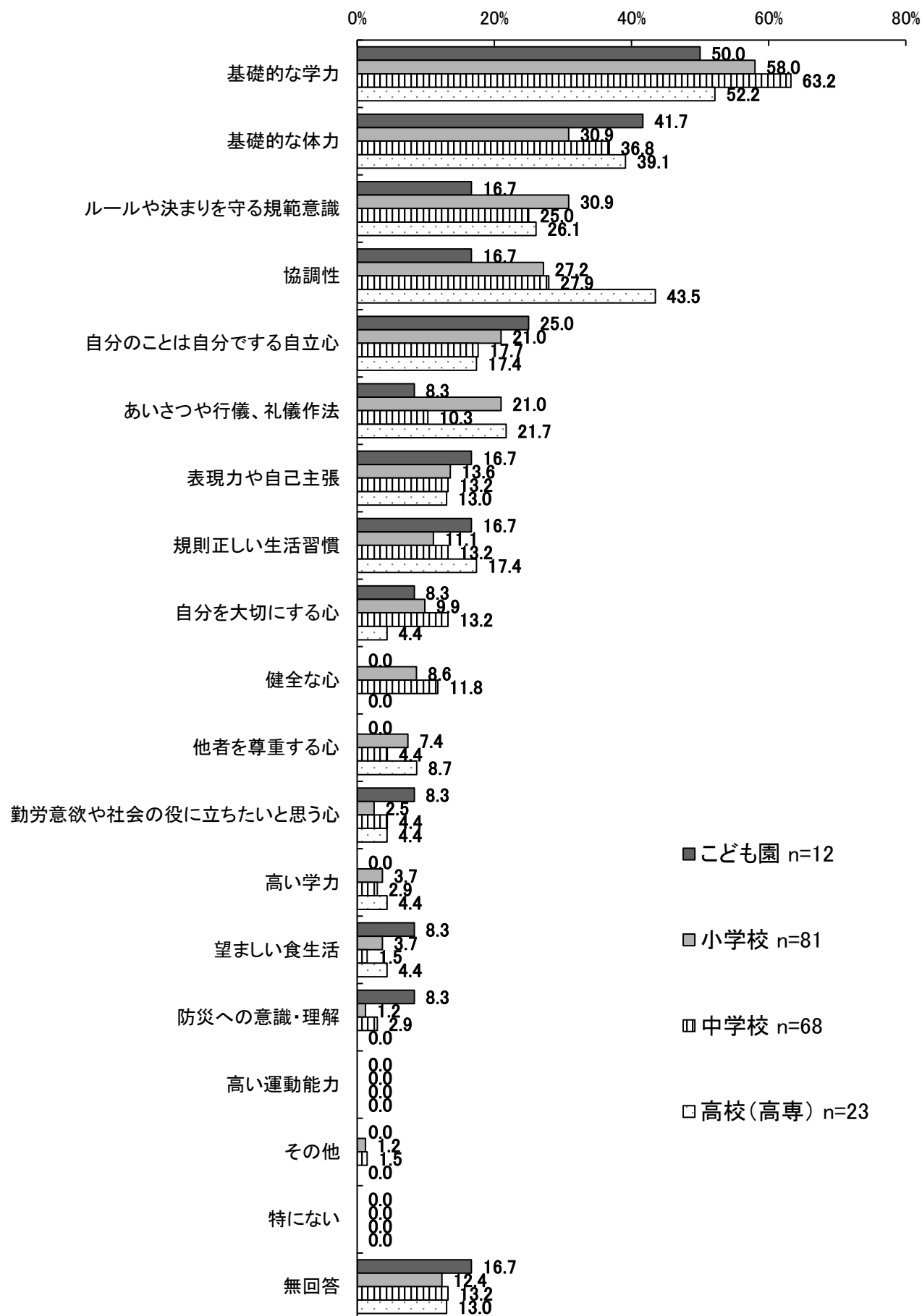
(その他の回答)

・ 社会性

【世帯別】



【教育機関別】



問6 ICT教育について

現在、海陽町ではICT教育とグローバル教育（英語教育）に力を入れています。将来、お子さんにICT教育で学んだことをどのように生かしてほしいですか。ご自由にお書きください。（自由記述）

・就職した時に会話で役に立つように。
・いろんな国や文化、人種などを受け入れられる人間性を多様性の中でも自分の意見を主張できる力を身につけてほしいです。
・グローバル教育に力を入れる事も大切ですが、他の学力の力を伸ばす事がまず一番だと思う。（基本的な必須の科目の教育等）今の時点からのグローバル教育に力を入れることでどのような効果があったか具体的に分かりやすく知りたいです。
・ICT教育は苦手なようだが、これからは必要になってくると思う。グローバル教育も社会に出るうえで必要になってくるものだと思う。
・仕事。
・海外の方ともたくさんコミュニケーションをとれるようになってほしい。
・社会に出た時に困らないように使いこなせるようになっていた方がいいと思う。
・生かせられるレベルではない。
・将来のことはわからない。
・どの職種でも必要になると思うので自分で選んだ職種にスムーズに適應できるとよい。
・海外でも生きるような表現力や将来の仕事など。
・少々の英語(英会話)が出来て何かに役立ててほしい。
・どの様にいかすかではなく、子ども達が大人になった時には必須な能力になっていると思うので、今から学ぶべきだと思う。
・グローバル社会で活躍してほしい。
・日常会話が理解できるようになってほしいです。
・色々な人とかかわってほしい。
・学業や仕事に生かしてほしい。
・進学、就職先で自分の思いを発信(プレゼン)したり、技能の向上に生かしてほしい。
・県外出ても出なくても外国からの移住者や遊行者が増え、日本人以外の人とも関わらないと生活できない社会になりつつあります。苦手意識をいつまでもかかえていてはこれから当然増えてくる外国人との共生は成り立たないと思っています。学校で行なっているICT教育や複数の外国人とコミュニケーションしながらの英語教育は近い将来の多文化社会の中でも自分の立ち位置を見失わない。間違った主張に流されることのない個人を育てられると思っています。どこで生かすかと言えば自分の住む地域で学んだことを生かして幸せに生きてほしいです。
・英語が得意なようなので自分が行きたいと思う国へ行ってスムーズに行動できるような語学の力を身につけてほしい。
・将来、海外の方と交流が出来る事。
・英語を話せるようになり仕事や人との交流を増やしてほしい。
・自然な空気で話す機会を作ってほしい。
・国内外で活躍してほしい。
・英語は日常会話程度はできるようになって欲しい。
・出会った外国人と簡単な会話をしてほしい。

・コミュニケーション能力。
・外国の方ともコミュニケーションをとれるようになって欲しい。
・将来に選択する、職業に役立つ選択肢の一つになったら良い。
・ICT教育がどのように生かせるか分からない。
・情報をきちんと取捨選択できるようになってほしいです。
・英語が苦手な子の事を理解して、その子らも踏み込みやすくしてほしい。
・AIに仕事を奪われる時代にあって将来像をしっかりと描き、流行や世の中の動きに振り回されずに生きていける人間力。
・外であってもALTの教員の方が話しかけてる姿を見ると、地域密着しているとは感じます。が、外でどれだけ生かせるかは疑問です。
・将来仕事に活用できたらいいと思う。
・これからは必須の社会だと思うので、実践英語を学んでほしいです。
・将来の仕事にもよります。
・色々な文化を知ること、物事を深く考える事ができるようになること。英語でも情報を取れるようになること。
・社会のグローバル化が進んでいるので、それに対応できる人材に育ててほしい。
・仕事
・体験や仕事に活かしてほしい。
・日本文化、地域文化を、しっかり学んだ上で、語学力、ICTを駆使し、故郷から、世界に役立てほしいです。
・色々覚えてほしい。
・社会に出た時に生かせればいい。
・英語を聞く力を身につけコミュニケーションがとれること。
・自分の仕事で扱えたり、趣味等でも安全に使うことができるようになってほしい。
・仕事にいかせてほしい。
・自分の意見を伝えられるようになってほしい。
・私生活や仕事でいかしてほしい。
・仕事や日常生活で海外の人とのコミュニケーションが自然に取れる。
・デジタルに物怖じせず進んで関わって欲しい。
・日常会話を自然と話してほしい。
・海陽町からでも、どこにいても出来るような環境を作してほしい。
・生かす場を作してほしい。
・最大限活用できる知恵をつけ、自分のしたいことを実現させて社会で活躍することに生かしてほしい。

問7 グローバル社会で活躍するために必要な力

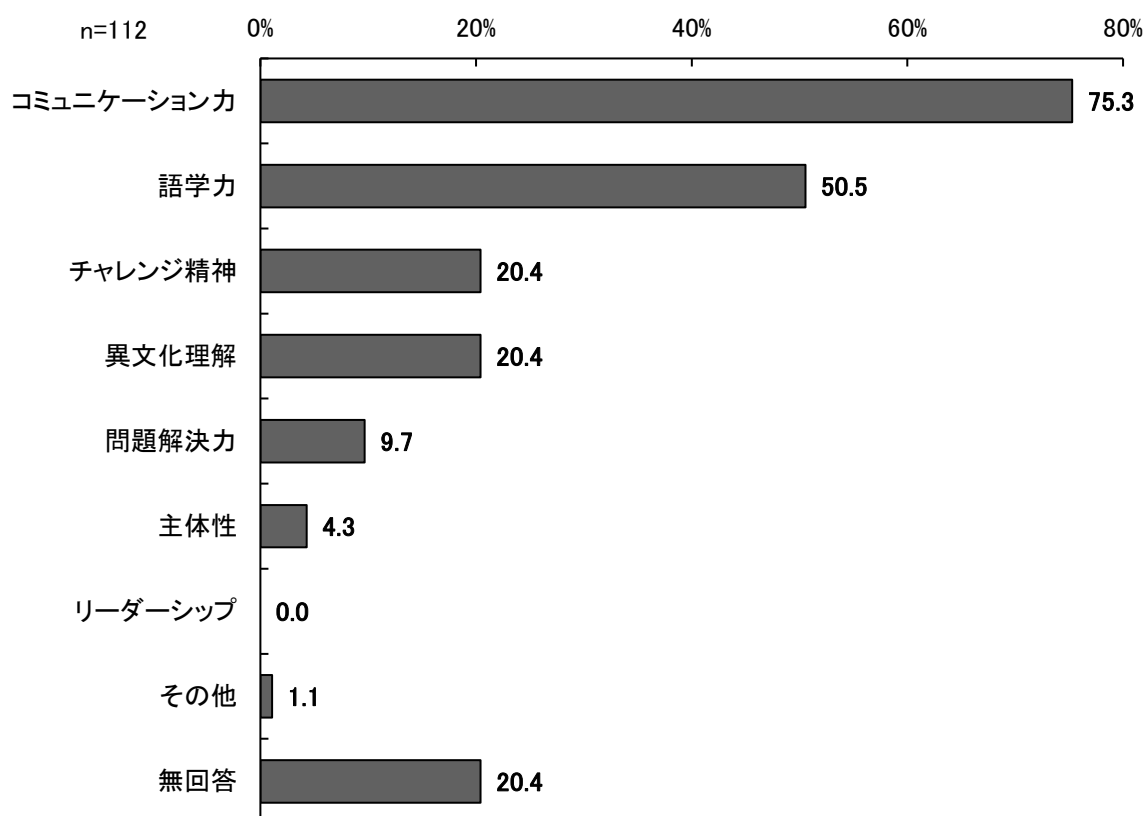
グローバル社会で活躍するためには、どのような力が特に必要だと思いますか。(〇は2つまで)

グローバル社会で活躍するために必要な力についてみると、上位から「コミュニケーション力」75.3%、「語学力」50.5%などの順となっています。

性別にみると、「チャレンジ精神」で男性(40.0%)が女性(11.7%)を28.3ポイント上回っています。

世帯構成別にみると、「コミュニケーション力」で最も高いのは、祖父母と両親と子ども(64.7%)で、母親(父親)と子ども(54.2%)を10.5ポイント上回っています。また、「語学力」で最も高いのは、両親と子ども(47.7%)で、母親(父親)と子ども(29.2%)を18.5ポイント上回っています。

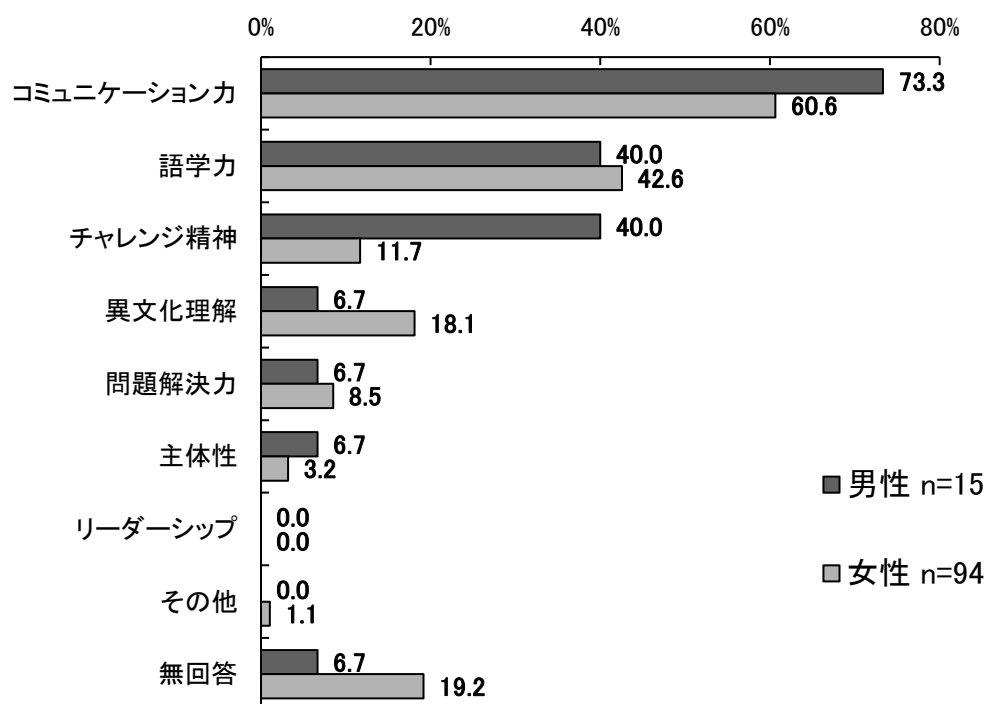
【全体】



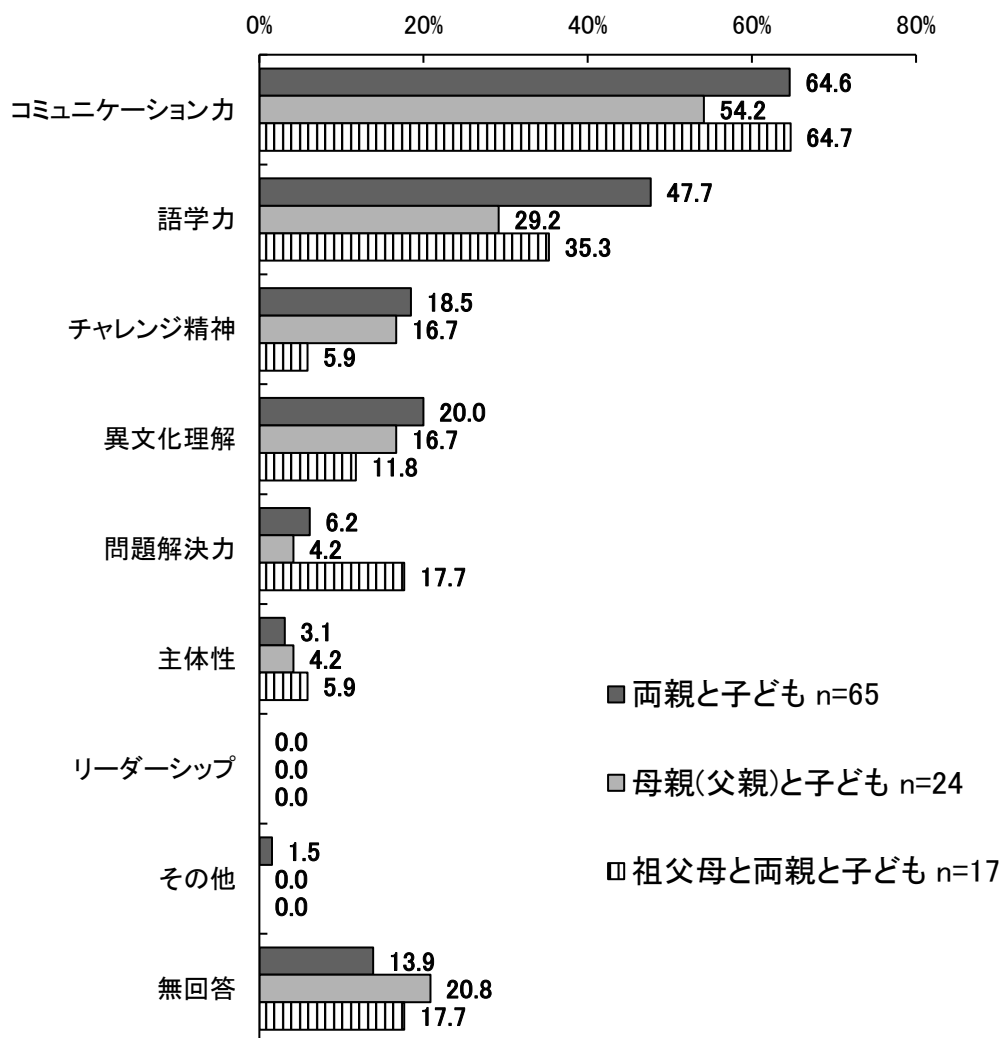
(その他の回答)

- ・日本の文化を知る
- ・多様性理解

【性別】



【世帯構成】



問8 将来の英語の生かし方について

将来、お子さんに英語をどのように生かしてほしいですか。ご自由にお書きください。(自由記述)

・壁が無く、誰とでもコミュニケーションが出来るように。
・色んな世界で物おじせずコミュニケーションが取れるように日常的に話せるようになってほしい。
・日本以外の多くの人とコミュニケーションをとって、自分の視野や可能性を広げてほしい。
・進学や就職の選択肢が増える。
・仕事、生活。
・仕事でつかえるようになってほしい。世界中の人とコミュニケーション出来る人間になってほしい。
・国籍、人種、性別関係なく色んな人とコミュニケーションをとるツールの一つとして英語を身近に感じてほしい。
・日本人だけが日本語しかできないという現実外国に行って初めて感じる事なのかもしれませんが、「日本人英語できない」という世界の認識があるようです。2か国できるのはごくごく普通のことととらえて自分が行きたいと思う国へチャレンジしてほしいです。
・色々な国の方とかかわって異文化に触れて視野を広げてもらいたいと思います。
・簡単な会話が出来る程度で構わないので仕事やプライベートでどんどん使ってほしい。
・社会に出て仕事面、生活面に役立ててほしい(実習生と会話の理解度上げる)。
・英語も今後は必須だと思っています。生活や仕事の中で当たり前英語、その他の言語、非言語コミュニケーションが使えるようになってほしいです。
・国際交流などに生かしてほしい。
・特にありません。苦手意識をもって接さないようになってほしいです。
・自分の道を選ぶ時の選択肢。
・将来、海外生活もよい経験だと思う。
・外国人の方と積極的にコミュニケーションし、その国の人達の住む地域を知って色々な考えがあることを学んでほしい。
・英語をしゃべれるようになってほしい。
・外国に行った会話できるように。様々な人と出会いコミュニケーションの手段として生かしてほしい。
・生活の中で何不自由なく話せたりしてほしい。
・海陽町に今よりたくさんの外国人が住むと思うので、地域で当たり前英語で会話が出来ようようになってほしいです。
・自分の希望する道に合わせて。
・色々な国の方と友達になれる事。
・仕事や人との交流に生かしてほしい。
・海外へ行くときがあれば困らない。
・国内外で活躍してほしい。
・色々な国の人と関わって色々な考え、風習を理解して成長してほしい。
・出会った外国人と簡単な会話をしてほしい。
・人種問わずコミュニケーションを図る。
・世界を旅してほしい。

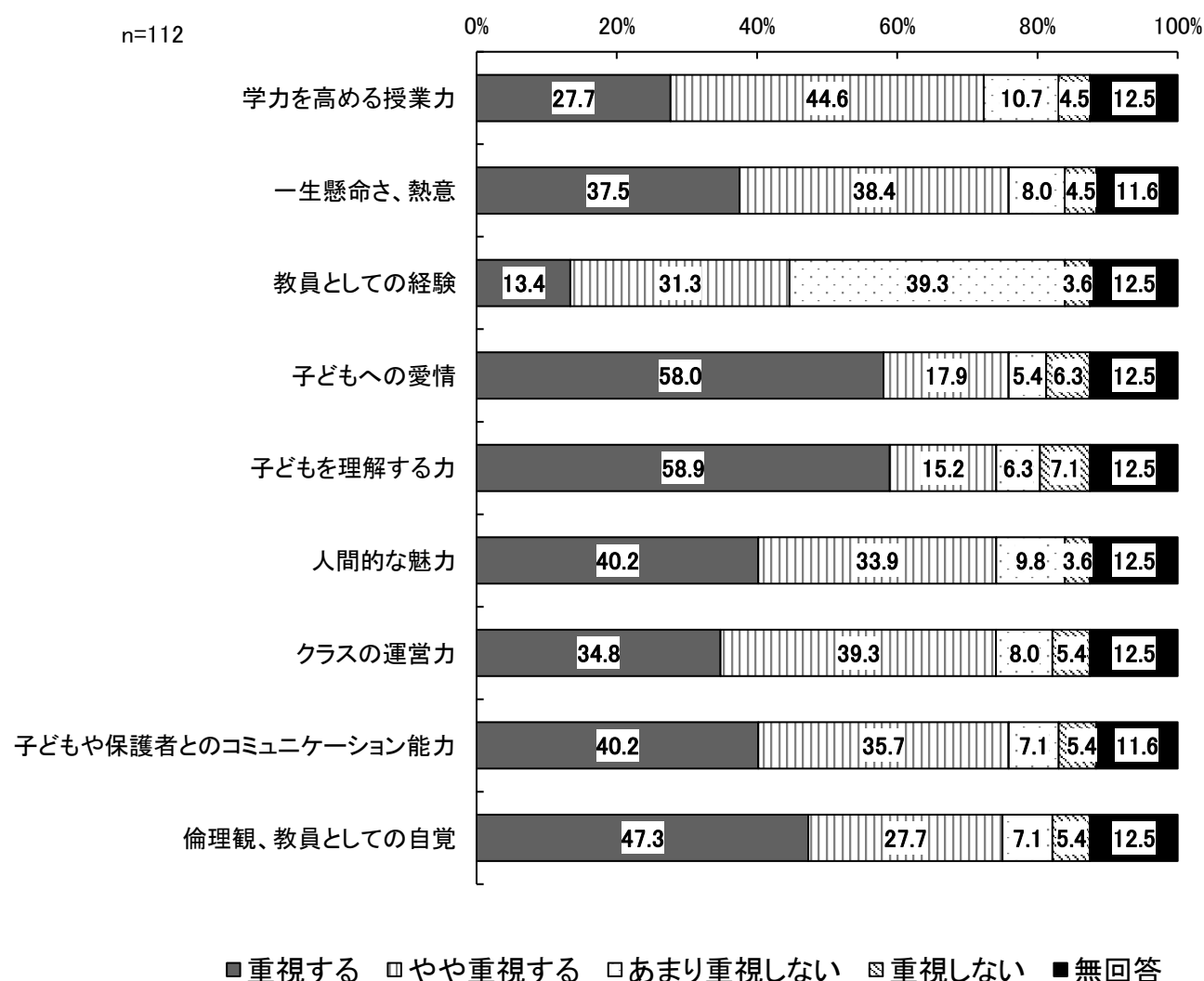
・選択肢を増やしてほしい。
・恥ずかしがらずに、誰とでも話せる一つ的手段として活用して欲しい。
・英会話ができるようになってほしい。
・自分自身の可能性を広げる一つのツールとして、身につけてほしいです。
・困らないように。
・コミュニティ。
・コミュニケーション。
・日本の文化のみならず、世界にも稀有な礼節や美徳、武士道、大和撫子といった精神文化を広げグローバルに価値を高められる人材。
・将来に役に立てて欲しい。
・英語を基礎として、違う言葉の国も覚えられたらと思います。
・違う文化の人とたくさん交流して欲しい。
・仕事や生活で生かしてほしい。
・多国の人ともコミュニケーションが取れる。
・外国の方と話をする機会がある仕事についたら、役に立ててほしいとおもいます。
・①受験勉強②仕事③生きるための知恵のひとつとして。
・将来就く仕事で、英語を使って世界中の人々と交流できるようになってほしい。
・体験や仕事。
・人種の垣根のない人付き合い。
・海外へ行くことが普通になって欲しい。
・日常的に生かしてほしいです。
・趣味。
・通訳無しで話して欲しい。
・外国人と話せるようになってほしい。
・日常会話英語を使えるのは当たり前になって欲しい。
・英語が聞き取れるようになって、友達ができたらい。
・自分の進路等に必要な英語力を養って生かしてほしい。
インバウンド客が多いので、通訳できるように生かしてほしい。
・将来の幅が広がるように。
・海外に行った時に自分の町の良さを伝えてほしい。
・私生活や仕事。
・仕事だけでなく、自分の世界を広げるためのコミュニケーション手段として生かして欲しい。
・いろんな人と自然に会話できるといい。
・国内でも外国人が増えているので積極的にコミュニケーションをとってお互いの文化を理解してほしい。
・異文化を理解する為のツールになれば良い。
・日常的に話かけられても 逃げ腰にならず自然と会話してほしい。
・多様な社会に対応して行ってほしい。
・外国人とのコミュニケーション。
・共通語としていろんな国の人たちと会話が出来たらと思う。
・海外に行ってほしい。
・社会でのびのびと生きていくツールとして生かしてほしい。

問9 先生に対して重視していること

学校の先生について、何を重視しますか。（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

先生に対して重視することについて、「重視する」が最も高かったのは「子どもを理解する力」（58.9％）で、次いで「子どもへの愛情」（58.0％）、「倫理観、教員としての自覚」（47.3％）の順となっています。一方で、“重要視しない”（「あまり重視しない」と「重視しない」の合計。）は「教員としての経験」（42.9％）が最も高く、次いで高い「学力を高める授業力」（15.2％）を27.7ポイント上回っています。

【全体】

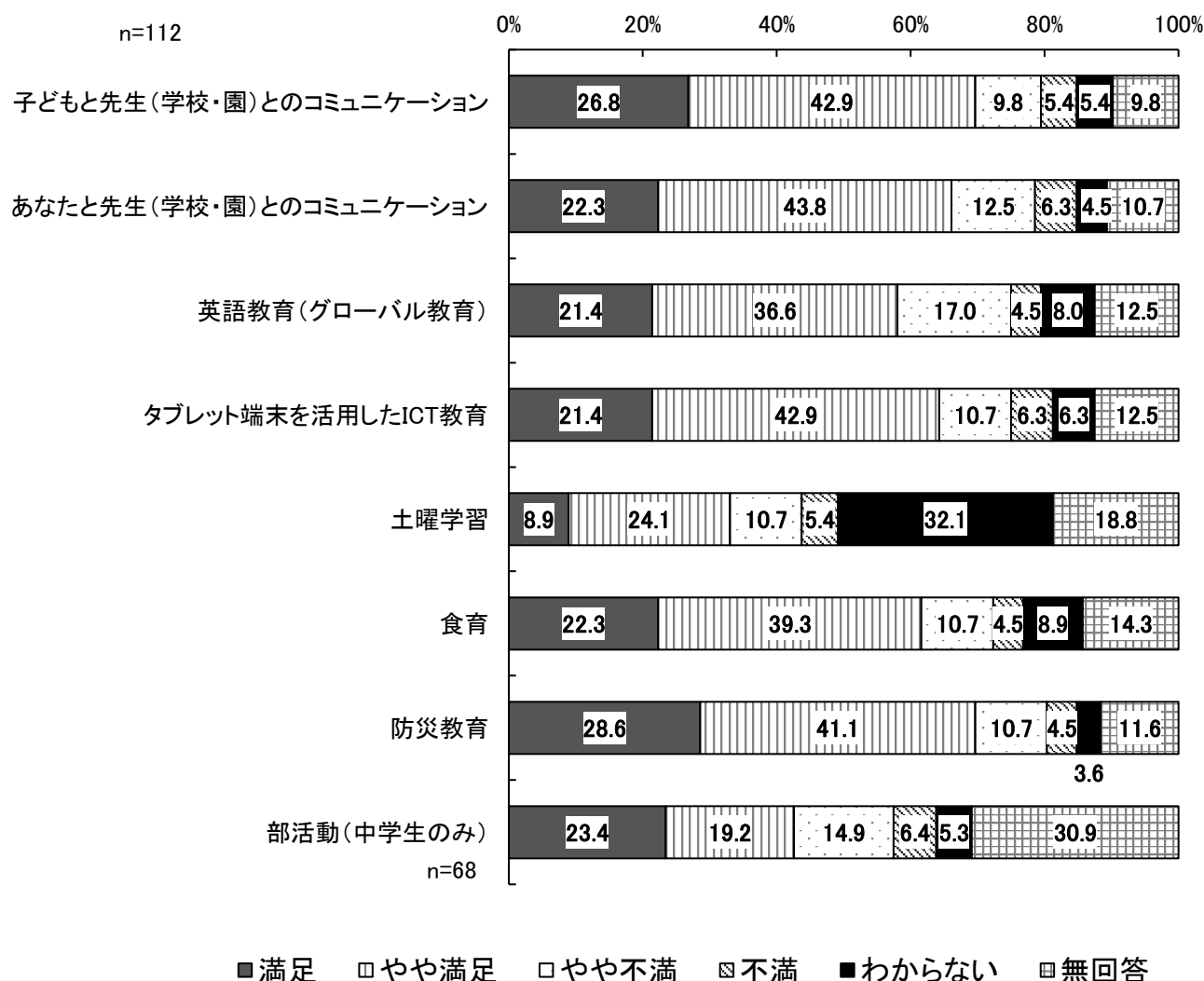


問10 学校・こども園に対する満足度

あなたは、現在お子さんが通っている学校やこども園での次のことについて、満足度をお答えください。（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

学校やこども園に対する満足度は、“満足している”（「満足」と「やや満足」の合計。以下同様）が最も高かったのは「子どもと先生（学校・園）とのコミュニケーション」、「防災教育」（69.7％）で、「あなたと先生（学校・園）とのコミュニケーション」（66.1％）などの順となっています。一方で、“不満がある”（「不満」と「やや不満」の合計。）は「英語教育（グローバル教育）」（21.5％）が最も高く、次いで「部活動（中学生のみ）」（21.3％）などの順となっています。

【全体】

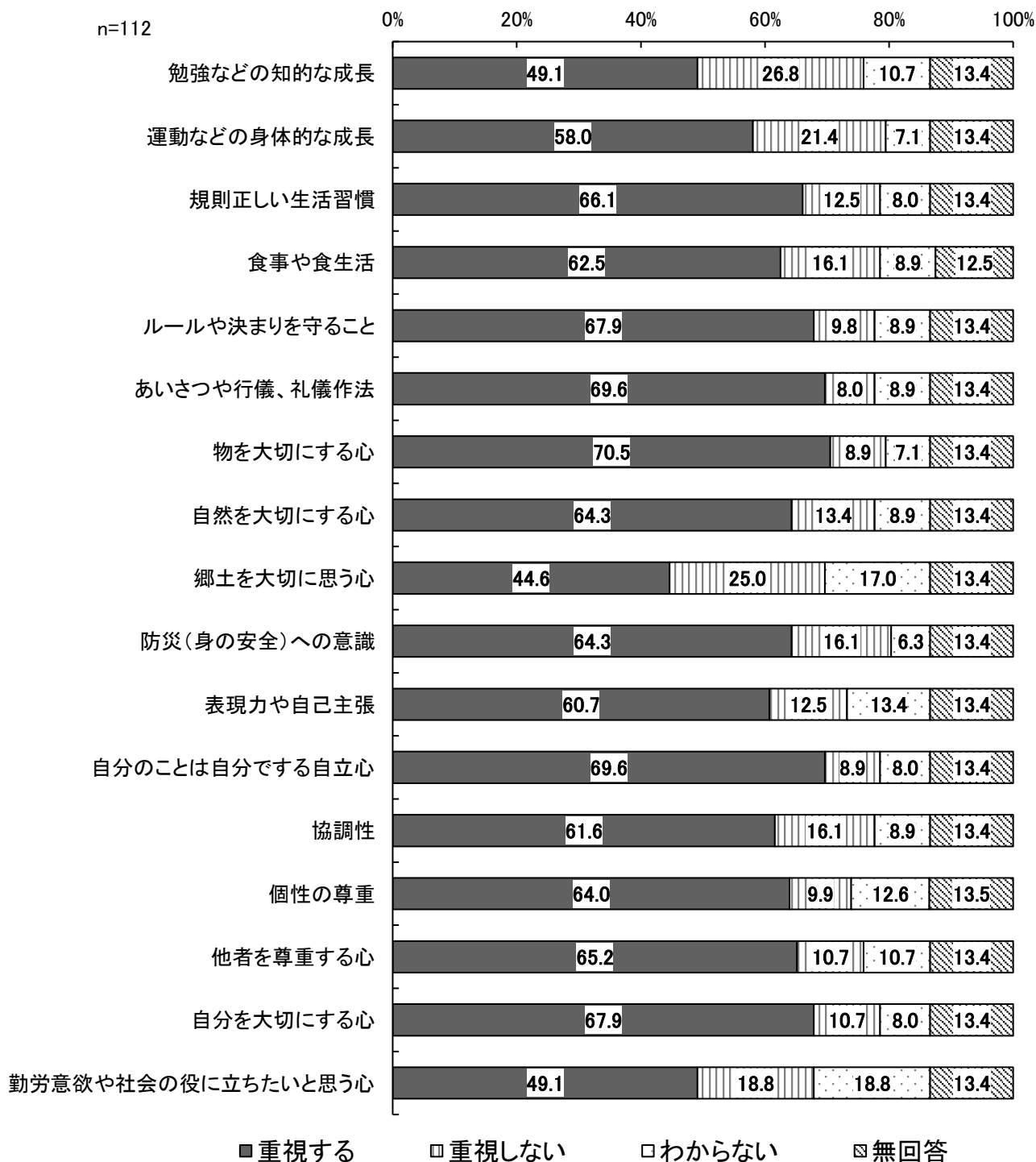


問Ⅰ 家庭教育で重視していること

家庭教育で、次のことがらを重視していますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

家庭教育で重視していることは、上位から「物を大切にする心」70.5%、「あいさつや行儀、礼儀作法」69.6%などの順となっています。一方で、「重視しない」は、「勉強などの知的な成長」が26.8%と最も高く、次いで「郷土を大切に思う心」25.0%などの順となっています。

【全体】



問 1 2 子育てにおける家庭と学校の役割

お子さんを育てるにあたって、家庭と学校の役割について、もっとも近いあなたの考えはどれですか。(〇は1つ)

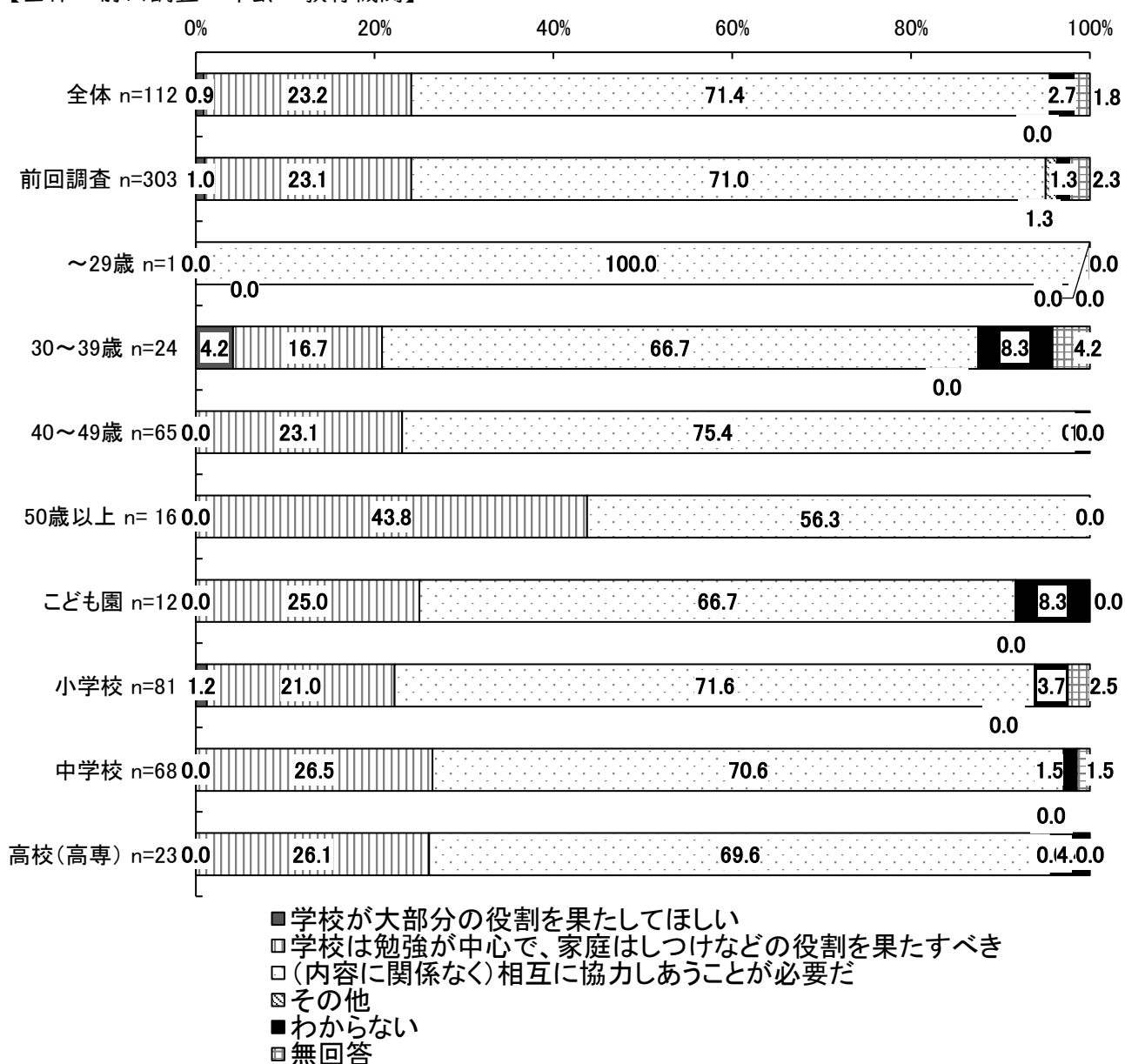
子育てにおける家庭と学校の役割について、全体では「(内容に関係なく) 相互に協力しあうことが必要だ」が71.4%と最も高く、次いで「学校は勉強が中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」が23.2%となっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

年齢別にみると、50歳以上で「学校は勉強が中心で、家庭はしつけなどの役割を果たすべき」が43.8%と高くなっています。

教育機関別にみると、全体の傾向とほぼ同様です。

【全体・前回調査・年齢・教育機関】



(その他の回答に具体的な記述はありませんでした。)

問Ⅰ 3 町の学校教育の特徴について

あなたは、町の学校教育の特徴は、何だと思いますか。（自由記述）

・ 高校入学できるまでの学力をしっかり身につけれること。町の歴史を知るための教育ができる。
・ 無駄に行事が多い。
・ 人数が少ない分、手厚く個人個人にあった教育が出来るという特徴。
・ 先生、生徒が和気あいあいとしている。生徒一人ひとりに個別に指導が出来る。
・ 他県より ALT やネイティブスピーカーの先生の数が充実し、英語教育が盛んである。ICT 教育も充実し、様々な機器も使いこなせるようになる。子供の数が少ないことでメリット・デメリットはあるが。また、田舎である物理的デメリットもかなり多いが、それを補うためにたくさんの挑戦を行っている事。
・ ICT 教育とグローバル教育。
・ 少人数によるきめ細かい学習指導ができる。町の自然や文化を生かした体験活動ができる。ICT や英語が学べる。
・ 地域密着。
・ 英語の ALT がたくさんはいること。
・ 少ない人数の為、一人ひとりと向き合うことが出来、手厚い指導を受けられること。先生方がとても熱心で丁寧に導いてくれる。
・ 色々と体験して覚える事。
・ 自然と関わる体験。
・ 地元の良さを理解し、のびのびと成長すると同時に、少人数だからこそ、文武両道であって欲しい。
・ 少人数で手厚いフォロー。
・ 協調 自立 友愛。
・ 色々なイベントで地域との関わりがあり良い。
・ ICT。
・ 子供が少人数のため、より密に考え理解してもらえる。
・ 学校と保護者が協力できる。
・ ICT を駆使した教育環境。 異年齢の子たちと関わる豊かな人間関係づくり。
・ 手厚い教育 。
・ あたたかさ いろんな事との関わり。
・ 自立。
・ のびのびと地域が育む健全な人間。
・ 一人一人を尊重してくれる。
・ ICT 教育。
・ 自然を生かしたこの街でしか出来ない経験。
・ 地元にながらした教育。
・ グローバル、グローバル教育。
・ 自然。
・ ICT に力を入れている。

・一人ひとりへの対応がとても丁寧。英語の教育環境、外国人教師の数やイベントの数、英検費用の補助など、他に類をみないほど充実している。IT 利用や様々なイベントなど、次々と新しい試みをして下さっている。地域の方に教えて頂く機会や地域の事を学習する機会が多くあり、ありがたいと思っています。保護者の声も良く聞いていただきありがたいです。全体的に学校や町に、明るく風通しの良い雰囲気があり、ありがたいと思っております。
・自然の中での体験学習。
・グローバル教育。
・基礎的な学力や協調性を育てる場だと思う。
・集団の中で協調性や社会の仕組み等を経験する。生活リズムをつける。基礎的な学力や体力を身につける。
・地域の行事や特色に重点をおいた教育。
・英語に予算を使いすぎ。意味が無い。
・地域密着 少人数で丁寧な指導。
・自然を有効活用した稲刈りや川遊び、体験学習・少人数ならではの他学年や他校同士の交流。
・勉強から一般的な事を教える事。
・地域との関わり。
・学力向上、ICT。
・子育て支援や特別支援に手厚く、ICT と英語に力を入れてくれている。
・集団行動を学べる所。
・規模が小さいので、アットホームなところ。
・社会性を身につけること。
・地域との関わりが多いこと。
・いろいろな経験をさせてくれる。
・地域や自然との関わりが多いところ。
・先生と児童の距離が近い。
・もちろん学業。 友達、親以外の大人との人間関係 色んな方との接する事が出来る 。
・地域に寄り添いながら、グローバル化も取り入れる幅広い教育。
・地域の歴史、文化に触れたり学んだり 防災も強化されている。
・誰も取り残さない、子ども一人一人の成長を尊重した柔軟な対応。

問Ⅰ 4 町の学校教育で今後力を入れるべきこと

あなたは、町の学校教育で、今後特に力を入れる必要があると思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

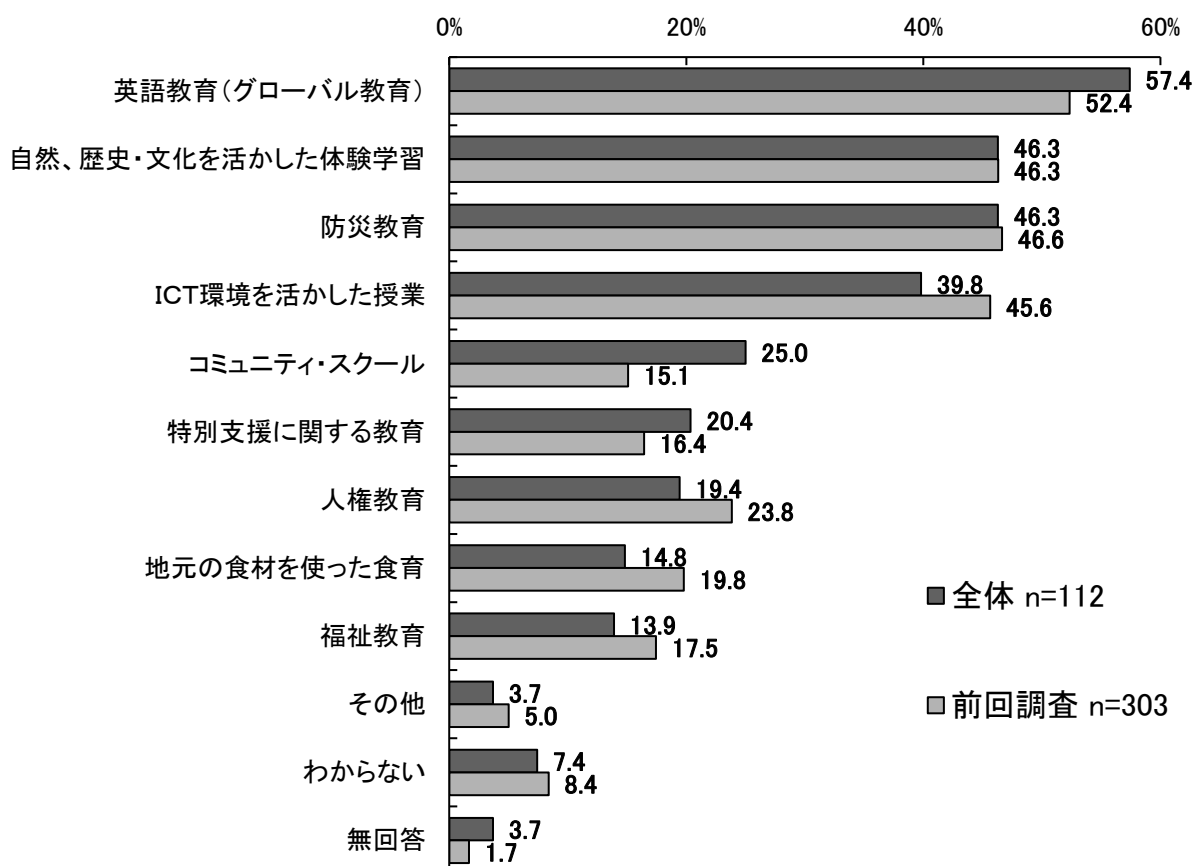
町の学校教育で、今後特に力を入れる必要があると思うことについて、全体では、上位から「英語教育（グローバル教育）」57.4%、「自然、歴史・文化を活かした体験学習」、「防災教育」46.3%、「ICT環境を活かした授業」39.8%などの順となっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

年齢別にみると、30～39歳で最も高かったのは「自然、歴史・文化を活かした体験学習」（54.2%）、40～49歳では「英語教育（グローバル教育）」（61.5%）、50歳以上でも「英語教育（グローバル教育）」（68.8%）となっています。

教育機関別にみると、こども園では、上位から「英語教育（グローバル教育）」66.7%、「防災教育」58.3%となっています。同様に、小学校では「英語教育（グローバル教育）」51.9%、「自然、歴史・文化を活かした体験学習」50.6%、中学校では「英語教育（グローバル教育）」58.8%、「ICT環境を活かした授業」44.1%となっています。高校（高専）では、「英語教育（グローバル教育）」52.2%、「防災教育」47.8%となっています。

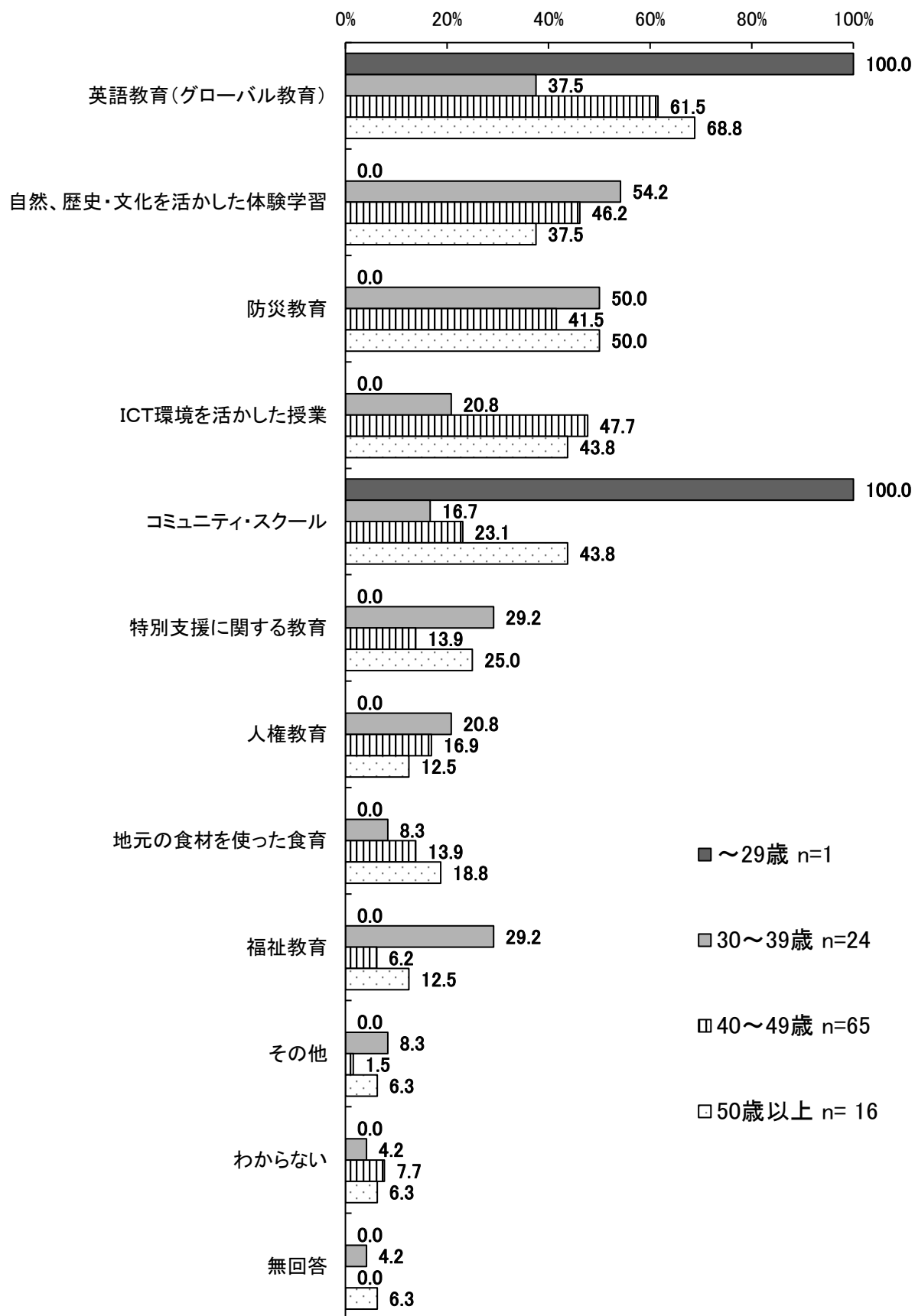
【全体・前回調査】



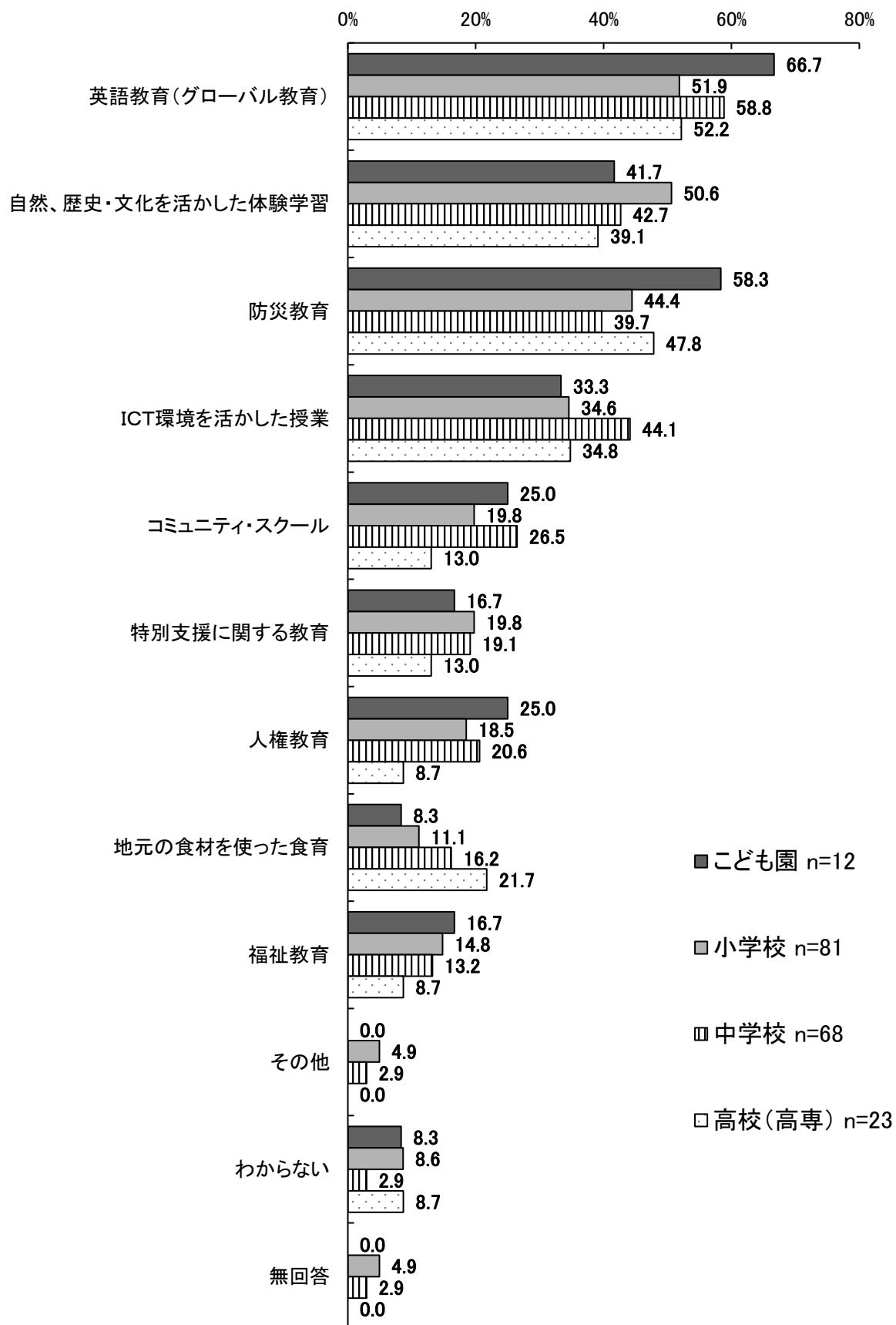
(その他の回答)

- ・経験格差をうめるための努力(家庭ごと都会と田舎など)
- ・夏休みに学習室を開放して欲しい
- ・スポーツ

【年齢】



【教育機関】



2. 生涯学習について

問15 関心のある学習活動の分野

あなたが関心のある学習活動の分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

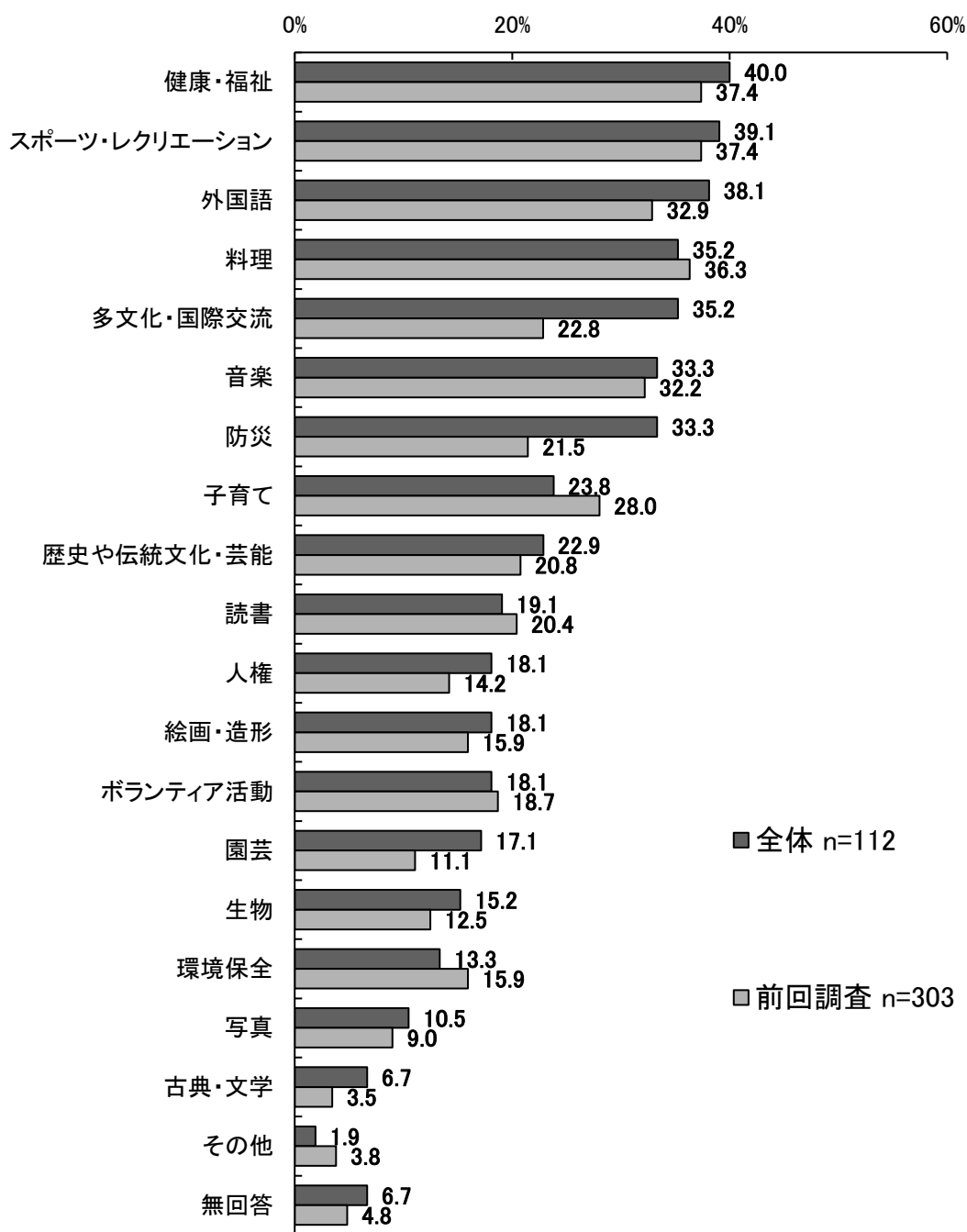
関心のある学習の分野は、全体では、上位から「健康・福祉」40.0%、「スポーツ・レクリエーション」で39.1%、「外国語」38.1%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「多文化・国際交流」で12.4ポイント、「防災」で11.8ポイント増加しており、関心が高まっています。

性別でみると、男性は、上位から「スポーツ・レクリエーション」53.3%、「健康・福祉」40.0%、「人権」33.3%などの順となっています。同様に、女性は「健康・福祉」37.2%、「外国語」36.2%、「多文化・国際交流」、「音楽」34.0%などの順となっています。「子育て」は、男性6.7%、女性25.5%で、女性が18.8ポイント、男性を上回っています。

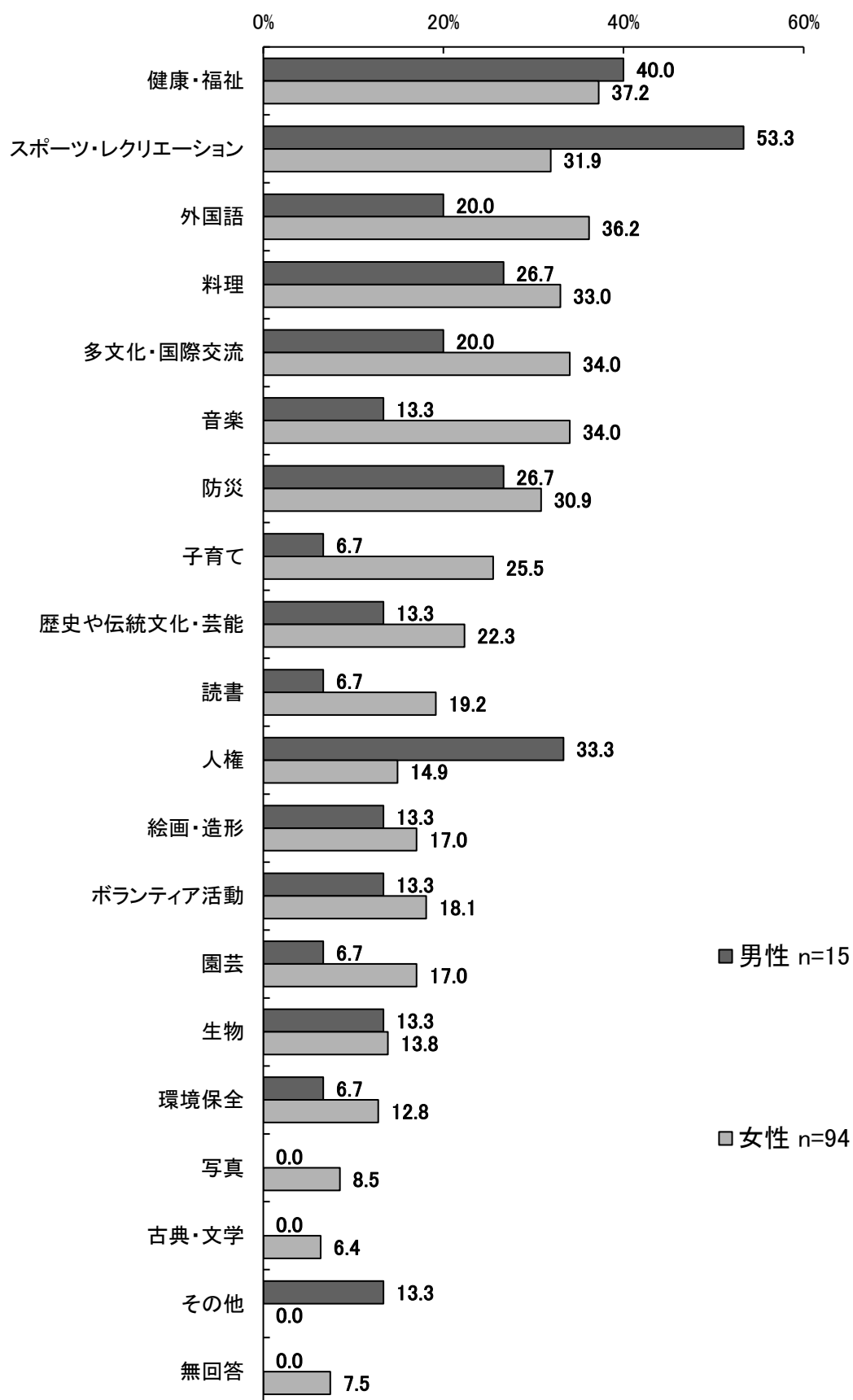
年齢別で最も高い分野についてみると、30～39歳は「健康・福祉」、「外国語」、40～49歳は「外国語」、50歳以上は「健康・福祉」となっています。

【全体・前回調査】

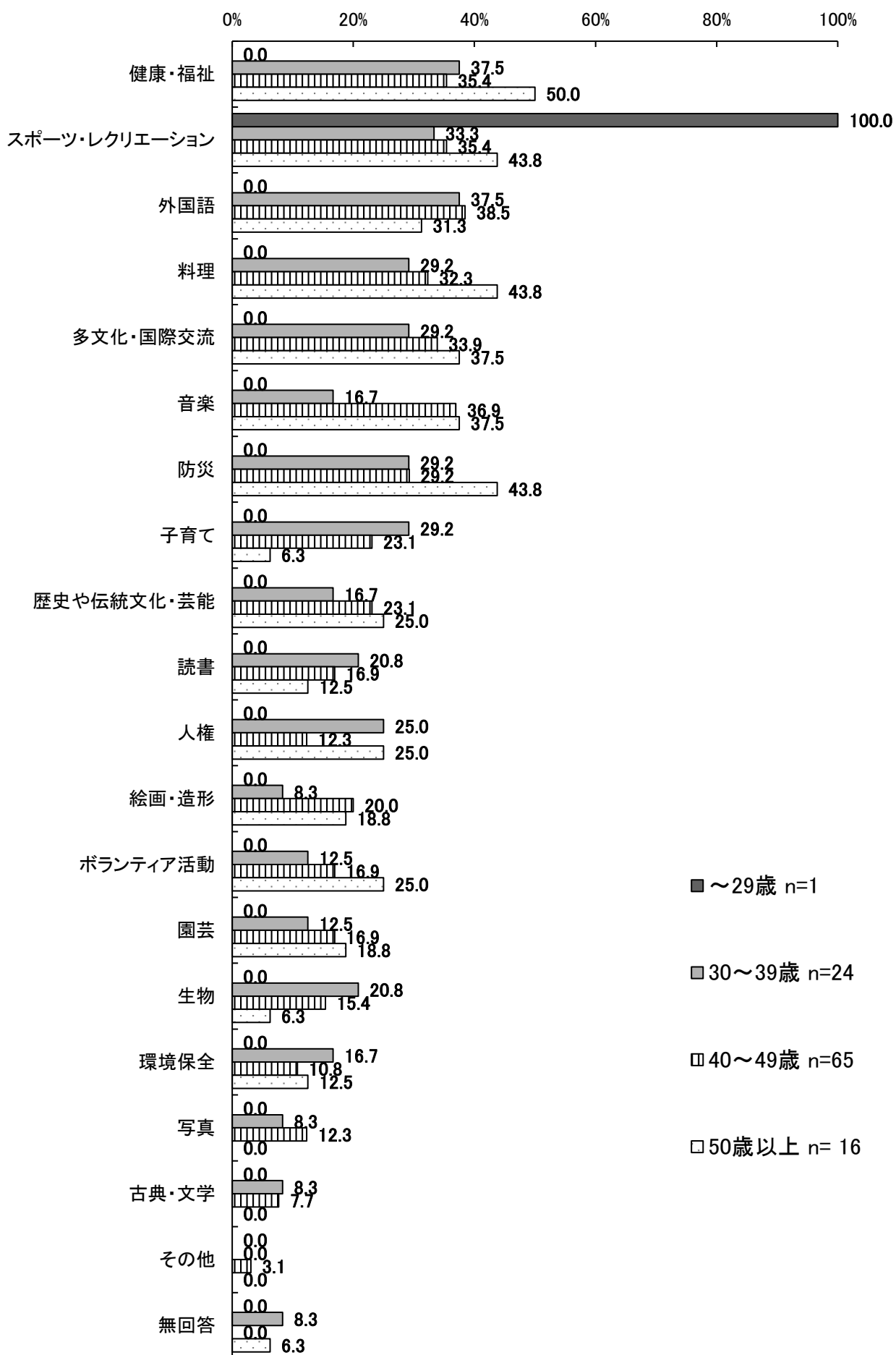


(その他の回答に具体的な記述はありませんでした。)

【性別】



【年齢】



問 16 阿波海南文化村に対する満足度

阿波海南文化村の各施設について、あなたの満足度をお答えください。

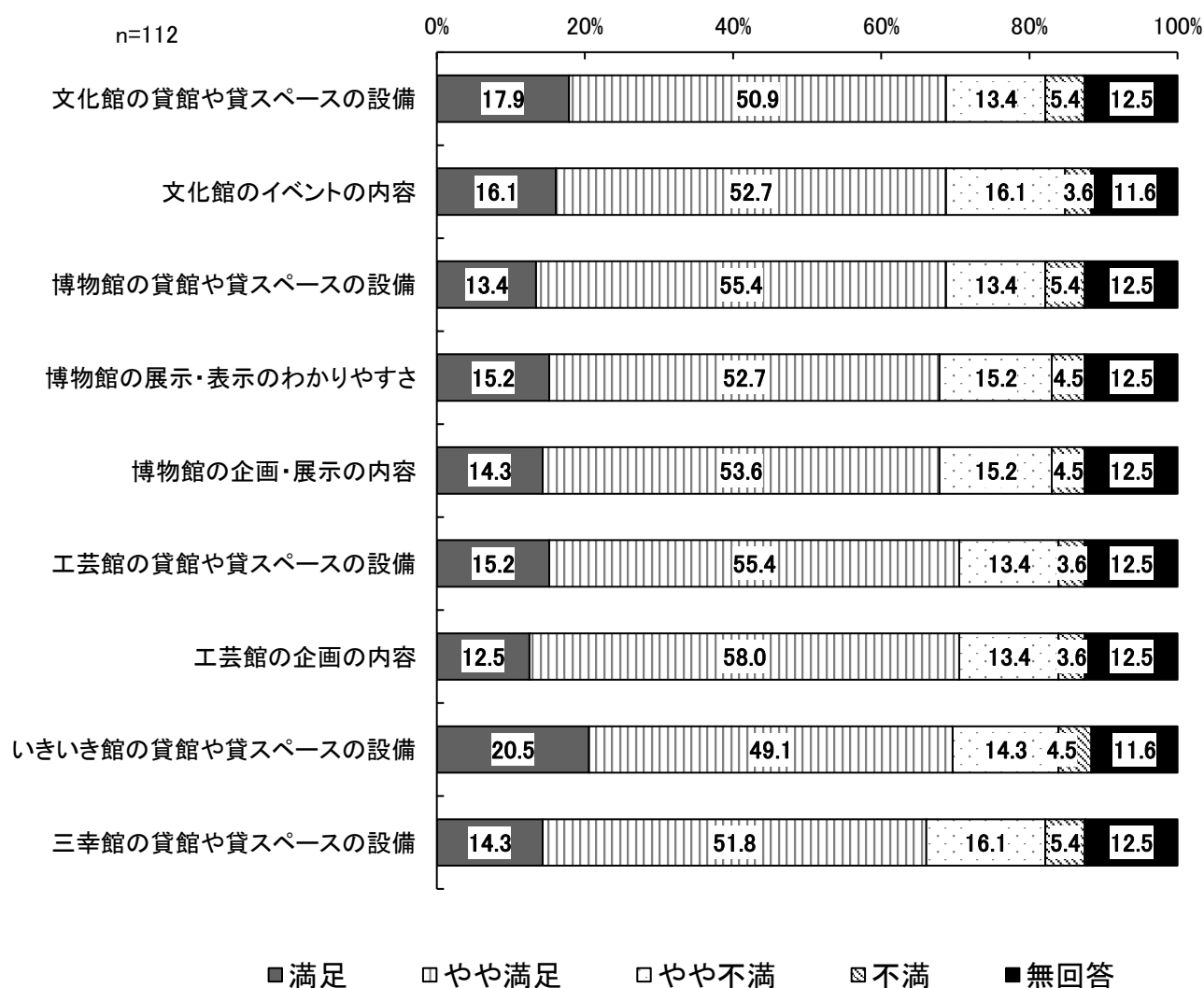
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

阿波海南文化村の各施設の満足度は、すべての分野で“満足している”(「満足」と「やや満足」の合計。)が6割を超えています。

一方で、“不満である”(「やや不満」と「不満」の合計。)は、すべての分野で約1~2割を占め、最も高いのは「三幸館の貸館や貸スペースの設備」の21.5%となっています。

【全体】

n=112



問 17 阿波海南文化村で開催された行事への参加

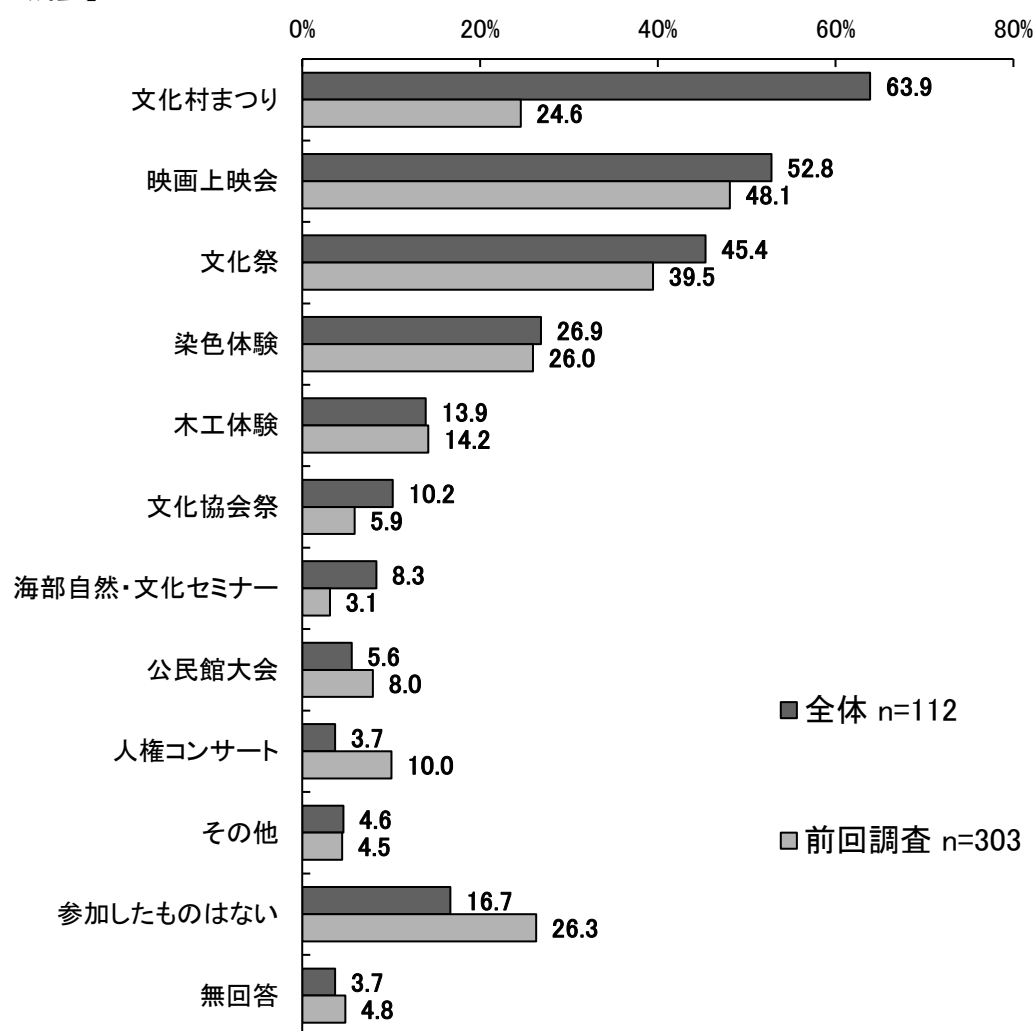
阿波海南文化村で開催された行事の中で、あなたが今までに参加したものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

阿波海南文化村で開催された行事の中で今までに参加したものは、「文化村まつり」が63.9%と最も高く、次いで「映画上映会」52.8%、「文化祭」45.4%、「染色体験」26.9%などの順となっており、20%を超えるのは以上の4行事です。

一方で、「参加したものはなし」は16.7%となっています。

前回調査と比較すると、「文化村まつり」が39.3ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・コンサート・映画
- ・クリスマスケーキづくり

問Ⅰ 8 阿波海南文化村で体験・見学してみたいこと

阿波海南文化村の各施設で、あなたが体験したいことや見学したいこと、またはやってみたいことをお答えください。（自由記述）

文化館

- ・ 芸能大会
- ・ 今のイベントで満足しています
- ・ 子供もいれる。楽しめる子供向けのオーケストラ鑑賞。映画。スポーツのプロや有名人などの講演会
- ・ コンサート
- ・ 海陽町民による大合唱
- ・ オープン感が無い。
- ・ 映画上映
- ・ 子供達が参加している、色々な伝統文化の発表をみてみたい
- ・ コンサートなどの音楽イベント
- ・ 映画をもっと観たい。映画館が遠いので
- ・ クラシックコンサートの鑑賞

博物館

- ・ 利用者が少ないので施設内を分かりやすく案内するスタッフを配置して楽しめるようにすればいいと思う
- ・ 子供向けの生物や古生物などの企画展。プラネタリウム
- ・ 色々売れてよかった
- ・ 美術品の展示
- ・ 歴史探検ツアー
- ・ 海陽町の歴史の勉強
- ・ 貴重な文化財の展示
- ・ 企画展やワークショップ
- ・ 子ども向けのイベント
- ・ 地域の文化に触れる

工芸館

- ・ 木工体験
- ・ 木工体験、余裕があるなら当日の予約も可にして欲しい
- ・ 販売できる私の便利グッズ
- ・ 藍染
- ・ 陶芸

いきいき館

- ・ゲーム
- ・囲碁かオセロかチェスを教えて欲しい(脳トレ)
- ・いろんな世代の方と話ができたり、他の場所から来た方に、雨の場合、ご案内するのに困るので、居場所場所づくりをしてほしい
- ・こどもを遊ばせること
- ・子育てサークル
- ・防災キャンプ

三幸館

- ・料理教室(子どもと一緒に)
- ・全国の物産展 全国の駅弁大会
- ・軽食が無くなったのは残念。
- ・ヘルシーな野菜を地元使ったスイーツ教室
- ・他の場所からきたお客様を連れて行きたくなるような場所づくり
- ・調理をするイベント
- ・各種イベント
- ・お料理教室。郷土料理、お菓子、フランス料理など

3. 防災教育について

問19 地震津波碑について

あなたは、地震津波碑（過去の被害記録や減災への教訓が刻まれている石碑）が町内にあることを知っていますか。（○は1つ）

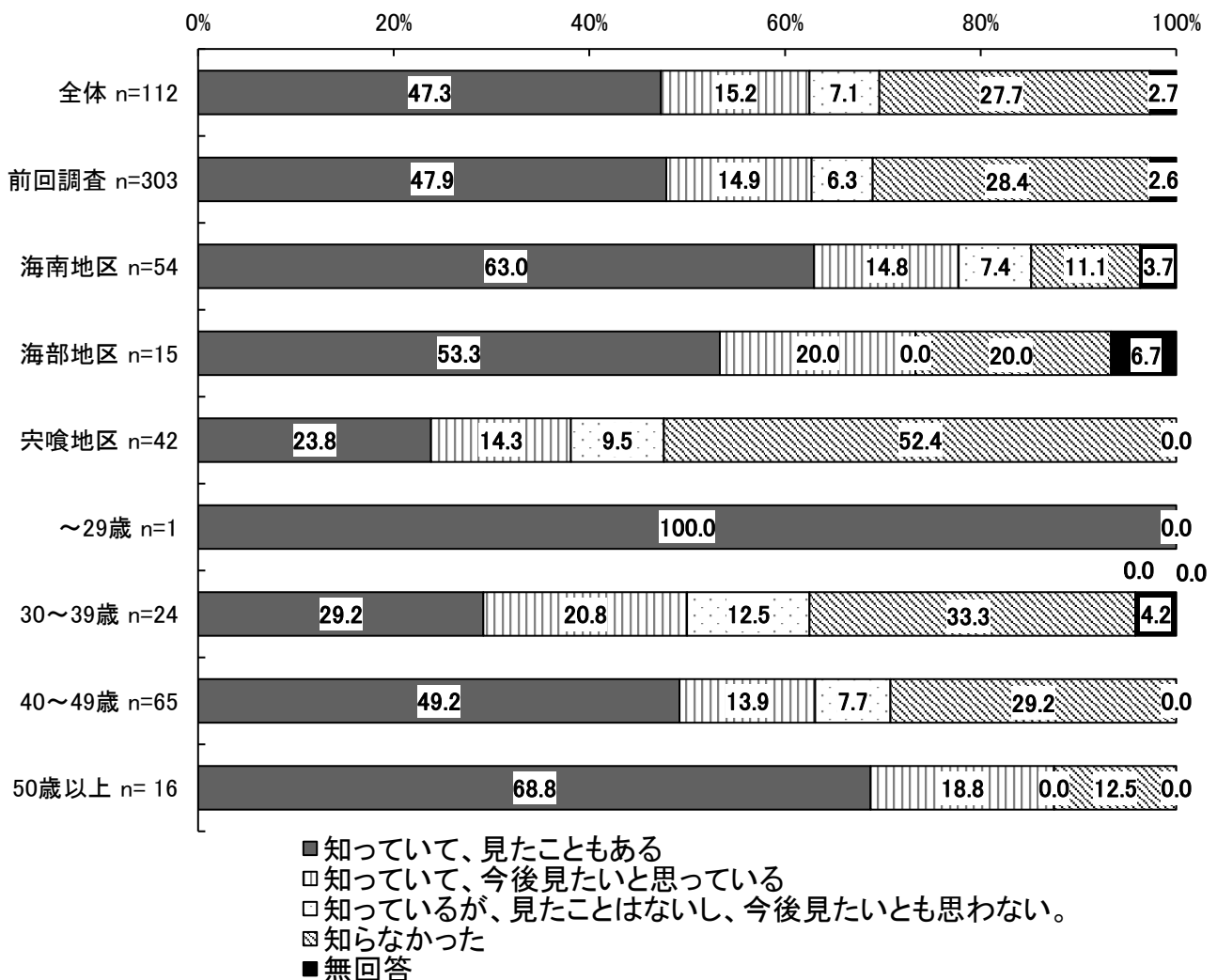
地震津波碑の認知度は、全体では、“知っている”（「知っている、見たこともある」と「知っている、今後見たいと思っている」、「知っているが、見たことはないし、今後見たいとも思わない」の合計。以下同様）が69.6%と、「知らなかった」の27.7%を41.9ポイント上回っています。

前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

居住地区別にみると、穴喰地区の認知度が低く、“知っている”が47.6%と、「知らなかった」（52.4%）と比較して、「知らなかった」が4.8ポイントと高くなっています。

年齢別にみると、～29歳を除き、年齢が高くなるにつれて、“知っている”の割合が高くなり、50歳以上（87.6%）と30～29歳（62.5%）を比較すると、25.1ポイントの差となっています。

【全体・前回調査・居住地区・年齢】



問19-1 地震津波碑を知ったきっかけ

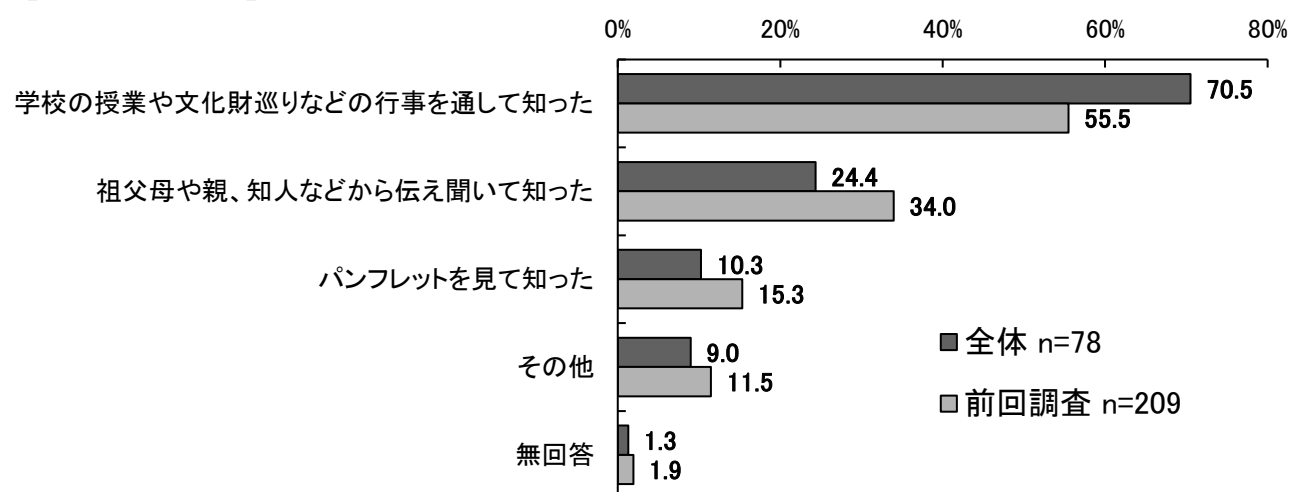
問19で「1.」～「3.」に○をつけた方におたずねします。

地震津波碑を知ったきっかけをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

地震津波碑を知ったきっかけは、全体では、「学校の授業や文化財巡りなどの行事を通して知った」が70.5%と最も高く、次いで「祖父母や親、知人などから伝え聞いて知った」24.4%、「パンフレットを見て知った」10.3%となっています。

前回調査と比較すると、「学校の授業や文化財巡りなどの行事を通して知った」が15.0ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



（その他の回答）

- ・ 地域にあるものを見た
- ・ たまたま見つけて
- ・ 町史
- ・ ネットでみた
- ・ 仕事
- ・ 通りかかった

4. 運動と健康について

問20 運動をする頻度

あなたは普段、どのくらい運動（身近な散歩から本格的なスポーツまで）をしていますか。
（○は1つ）

運動をする頻度は、全体では、上位から「していない」34.2%、「週に4日以上」14.4%、「週に2～3日」13.5%、「週に1日」12.6%、「月に1～3回」11.7%、「年に数回」11.7%の順となっています。

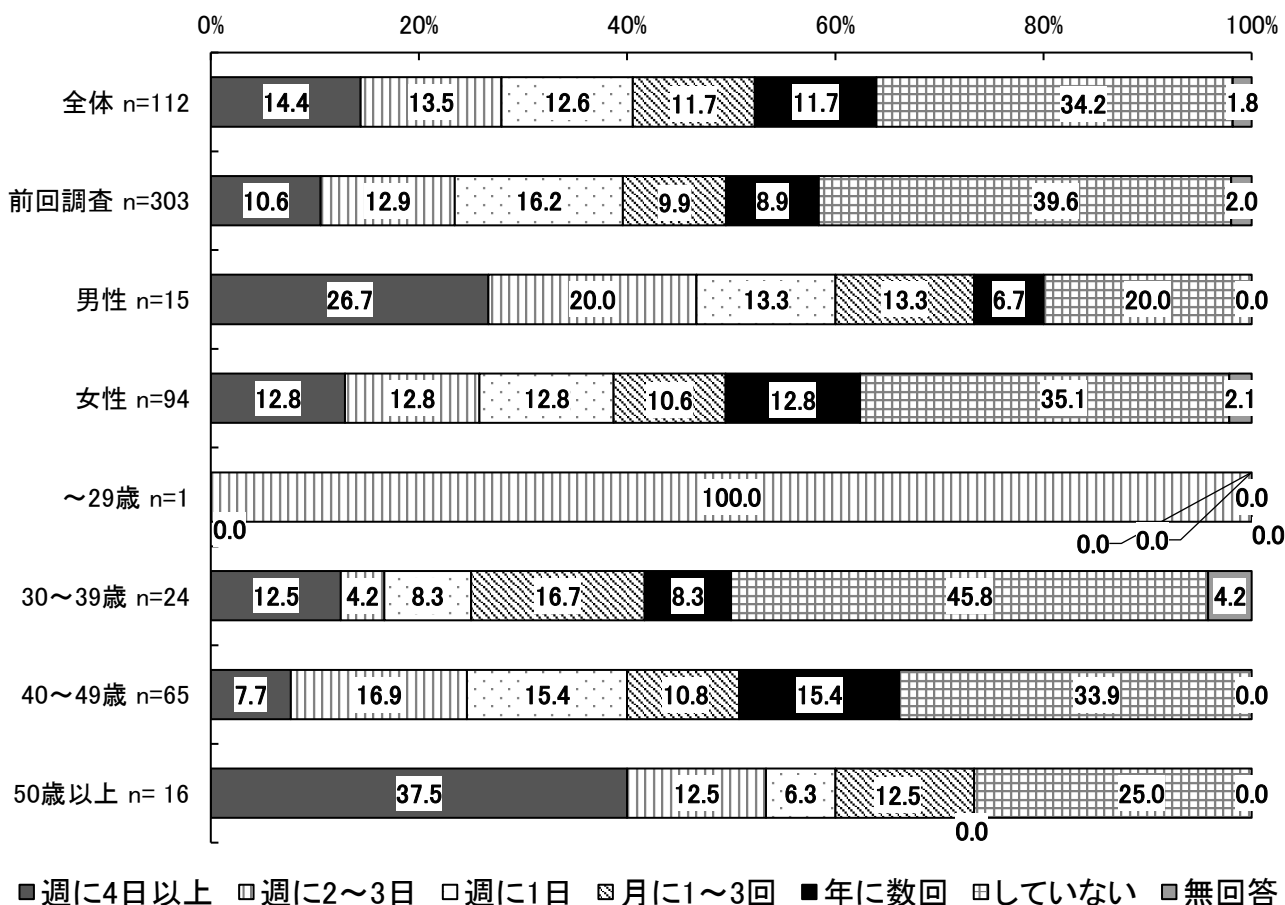
“週に1日以上”（「週に4日以上」と「週に2～3日」、「週に1日」の合計。以下同様）は40.5%、“月間や年間に数回”（「月に1～3回」と「年に数回」の合計。以下同様）は23.4%となります。

前回調査と比較すると、「していない」が5.4ポイント減少しています。

性別でみると、男性は“週に1日以上”が60.0%、“月間や年間に数回”が20.0%、「していない」が20.0%、女性は“週に1日以上”が38.4%、“月間や年間に数回”が23.4%、「していない」が35.1%となっており、男性の方が運動をする頻度が高くなっています。

年齢別にみると、“週に1日以上”の割合は、30～39歳では25.0%、40～49歳では40.0%、50歳以上では56.3%となっており、年齢層が高くなるにつれて割合も高くなっています。

【全体・前回調査・性別・年齢】



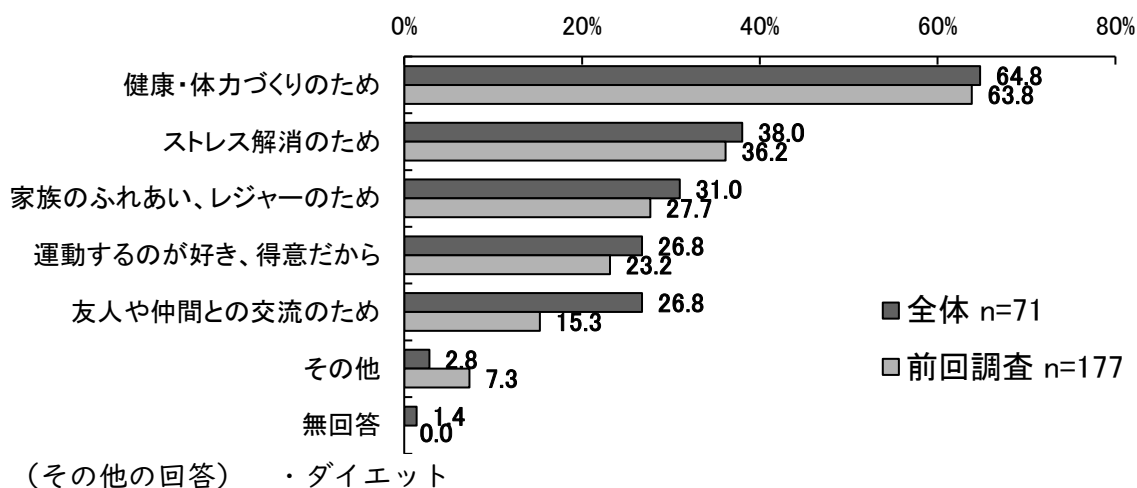
問20-1 運動をする理由

問20で「1.」～「5.」に○をつけた方におたずねします。

運動をする理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

運動をする理由は、上位から「健康・体力づくりのため」64.8%、「ストレス解消のため」38.0%、「家族とのふれあい、レジャーのため」31.0%などの順となっています。
 前回調査と比較すると、「友人や仲間との交流のため」が11.5ポイント減少しています。

【全体・前回調査】



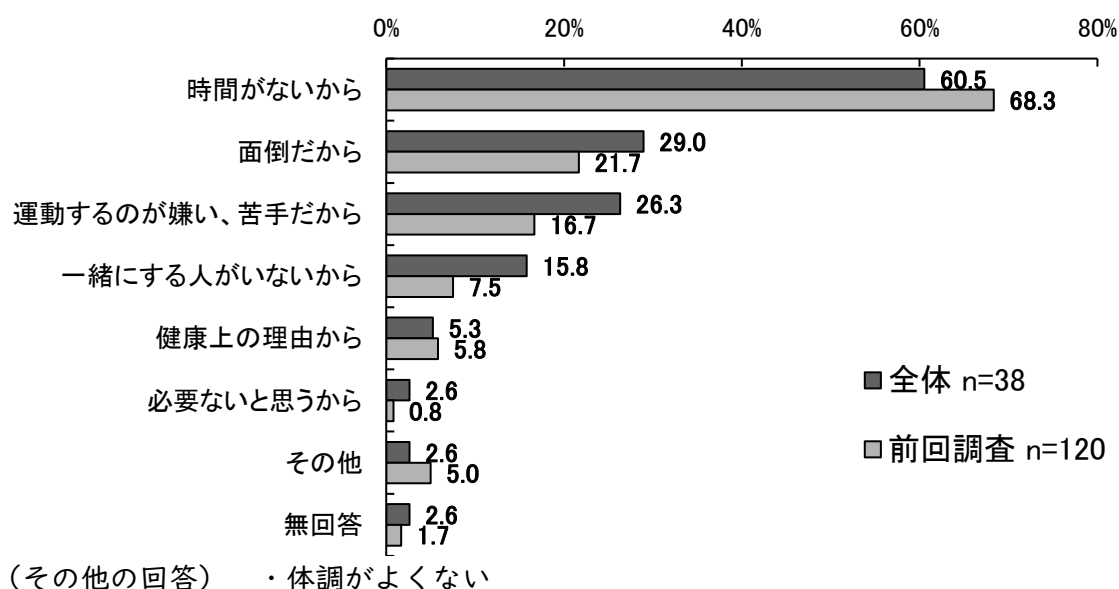
問20-2 運動をしない理由

問20で「6. していない」に○をつけた方におたずねします。

運動をしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

運動をしない理由は、上位から「時間がないから」60.5%、「面倒だから」29.0%、「運動するのが嫌い、苦手だから」26.3%などの順となっています。
 前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

【全体・前回調査】



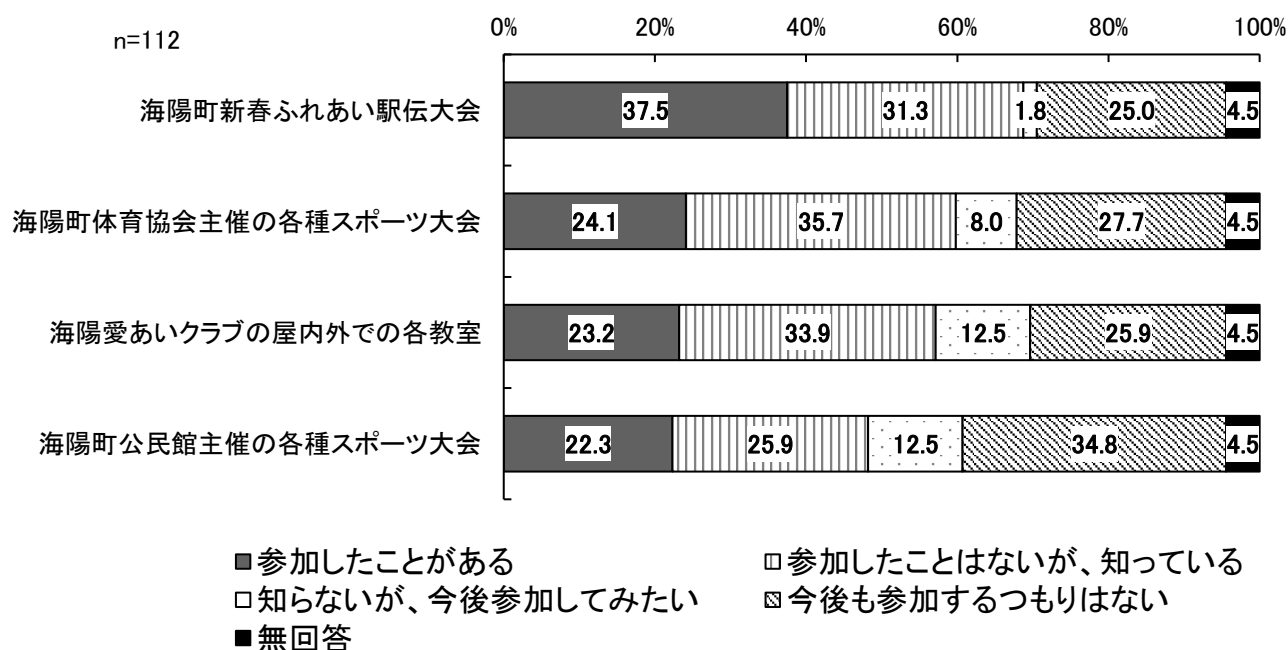
問 2 Ⅰ 町主催の行事に対する参加状況・認知度

町が主催する次の催しや行事で、あてはまることは何ですか。

(それぞれ、あてはまるもの 1 つに○)

町主催の行事に対する参加状況について、「参加したことがある」が最も高いのは「海陽町新春ふれあい駅伝大会」の 37.5%、次いで「海陽町体育協会主催の各種スポーツ大会」24.1%、「海陽愛あいクラブの屋内外での各教室」23.2%、「海陽町公民館主催の各種スポーツ大会」22.3%の順となっています。

【全体】



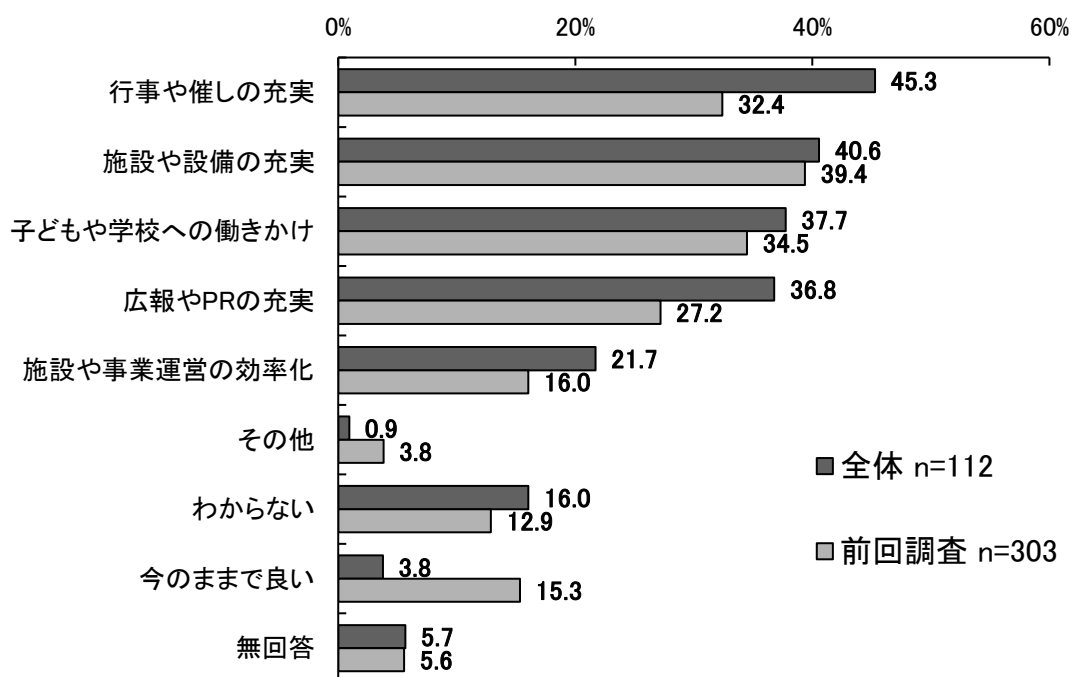
問 2 2 町民のスポーツ・健康づくりを推進するには

町民のスポーツや健康づくりを推進するうえで、町はどのようなことに力を入れると良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

町民のスポーツ・健康づくりを推進するうえで、町が力を入れると良いことは、上位から「行事や催しの充実」45.3%、「施設や設備の充実」40.6%、「子どもや学校への働きかけ」37.7%、「広報やPR活動の充実」36.8%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「今のままで良い」が11.5ポイント減少しており、それ以外の項目で全体的に増加傾向にあります。

【全体・前回調査】



（その他の回答）

・温泉施設にラジウム岩盤浴やEMS機導入

5. 町内の小・中学校の現状について

問23 充実・改善してほしい学校の施設・設備について

あなたは、学校の施設・設備などで、特に充実・改善してほしいことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

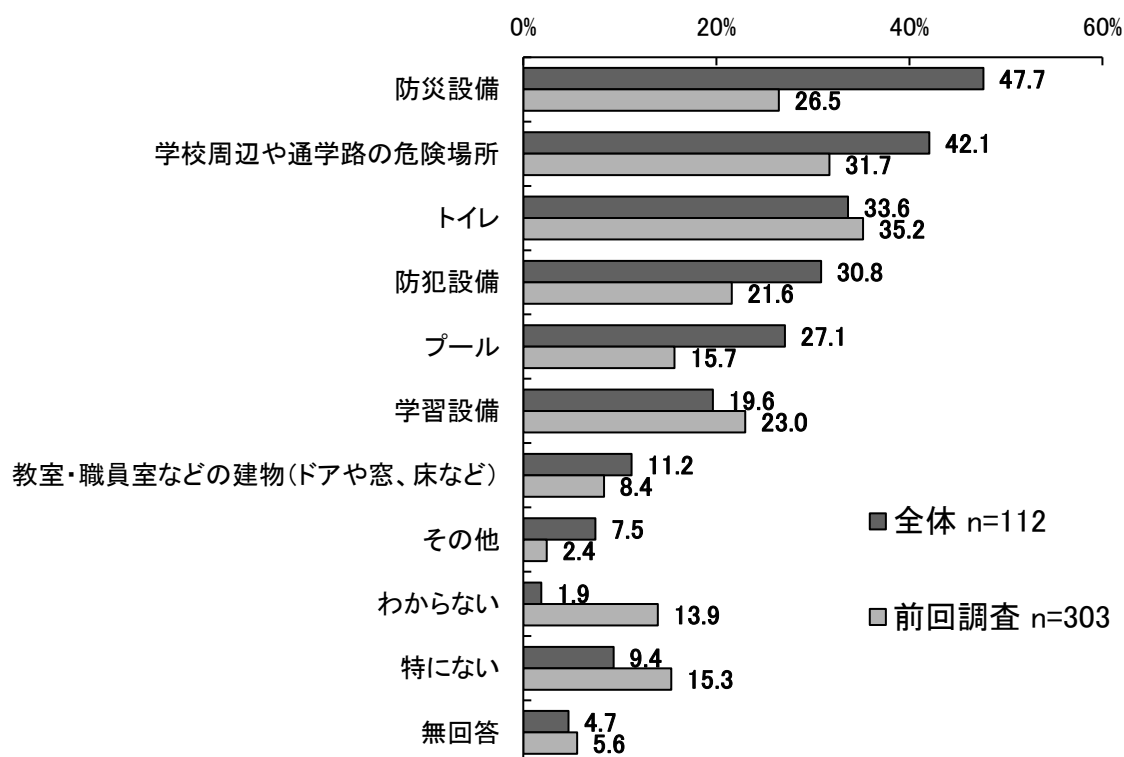
学校の施設・設備などで、特に充実・改善してほしいことは、上位から「防災設備」47.7%、「学校周辺や通学路の危険場所」42.1%、「トイレ」33.6%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「防災設備」が21.2ポイント増加しています。

居住地区別にみると、海南地区は、上位から「学校周辺や通学路の危険場所」50.0%、「防災設備」40.7%、海部地区は「防災設備」73.3%、「防犯設備」46.7%、そして穴喰地区は「防災設備」42.9%、「トイレ」35.7%となっています。

教育機関別にみると、こども園は、上位から「学校周辺や通学路の危険場所」66.7%、「防災設備」58.3%、小学校は「防災設備」49.4%、「学校周辺や通学路の危険場所」45.7%、中学校は「学校周辺や通学路の危険場所」38.2%、「トイレ」36.8%と、高校（高専）は、「防災設備」47.8%、「トイレ」43.5%となっています。

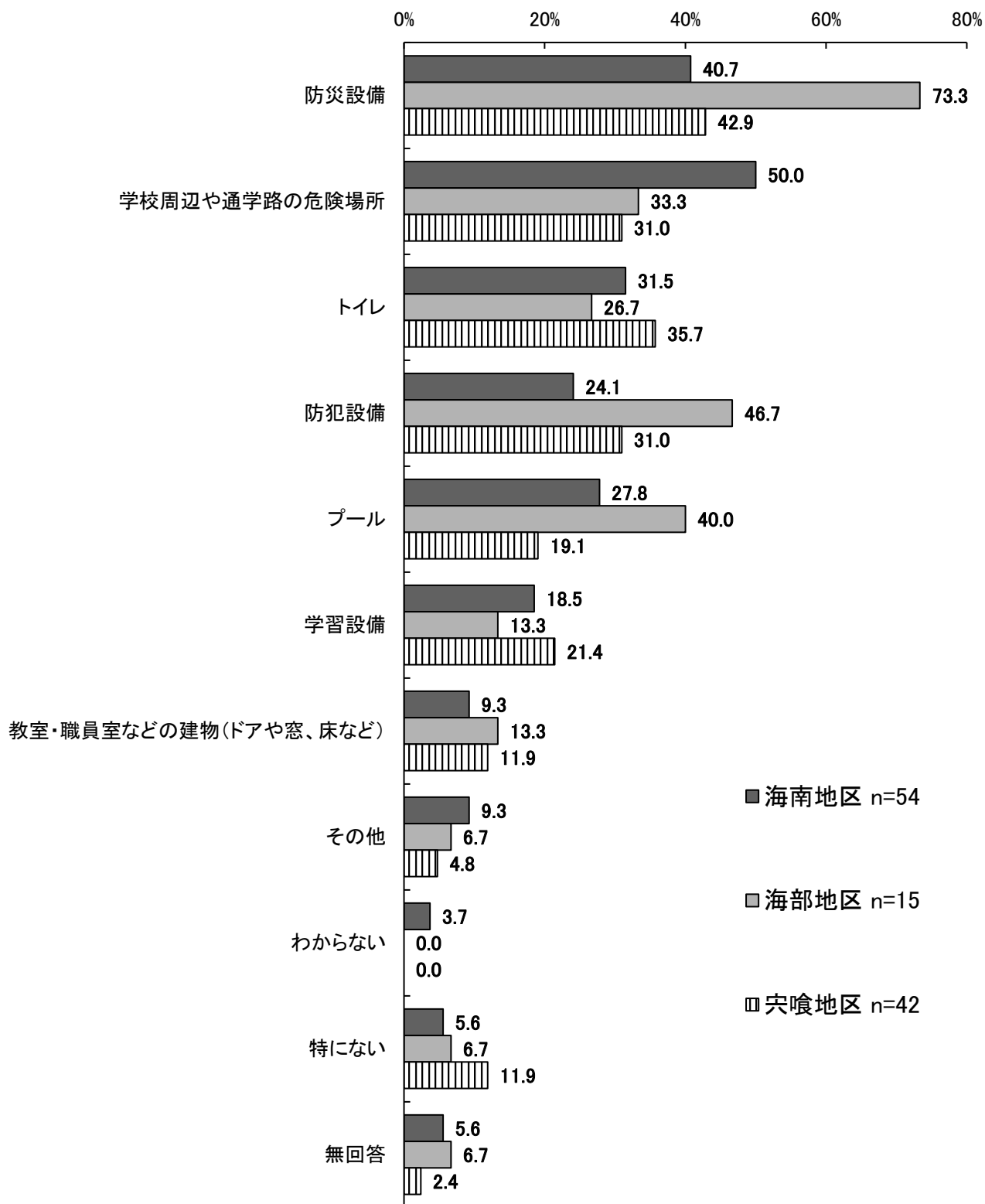
【全体・前回調査】



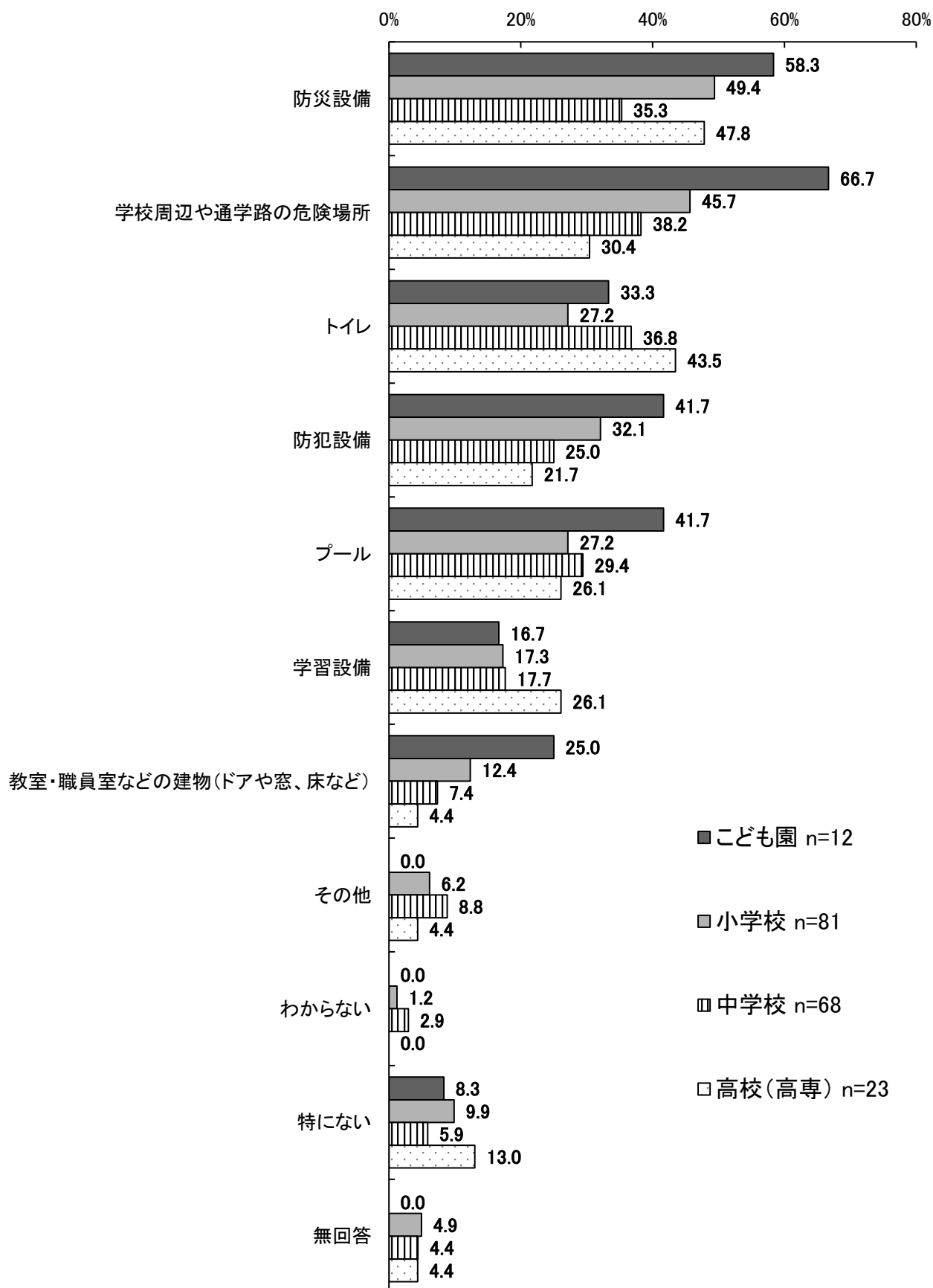
(その他の回答)

- ・運動場の照明
- ・体育館のクーラー
- ・通学路脇の瓦が落ちそうな空き家問題
- ・空調設備

【居住地区】



【教育機関】



問 2 4 児童・生徒の減少が子どもに与える影響

町では、少子化により、小・中学校の児童数・生徒数が減ることが予測されています。

児童や生徒の人数が減ることによって、子どもにどのような影響があると考えますか。

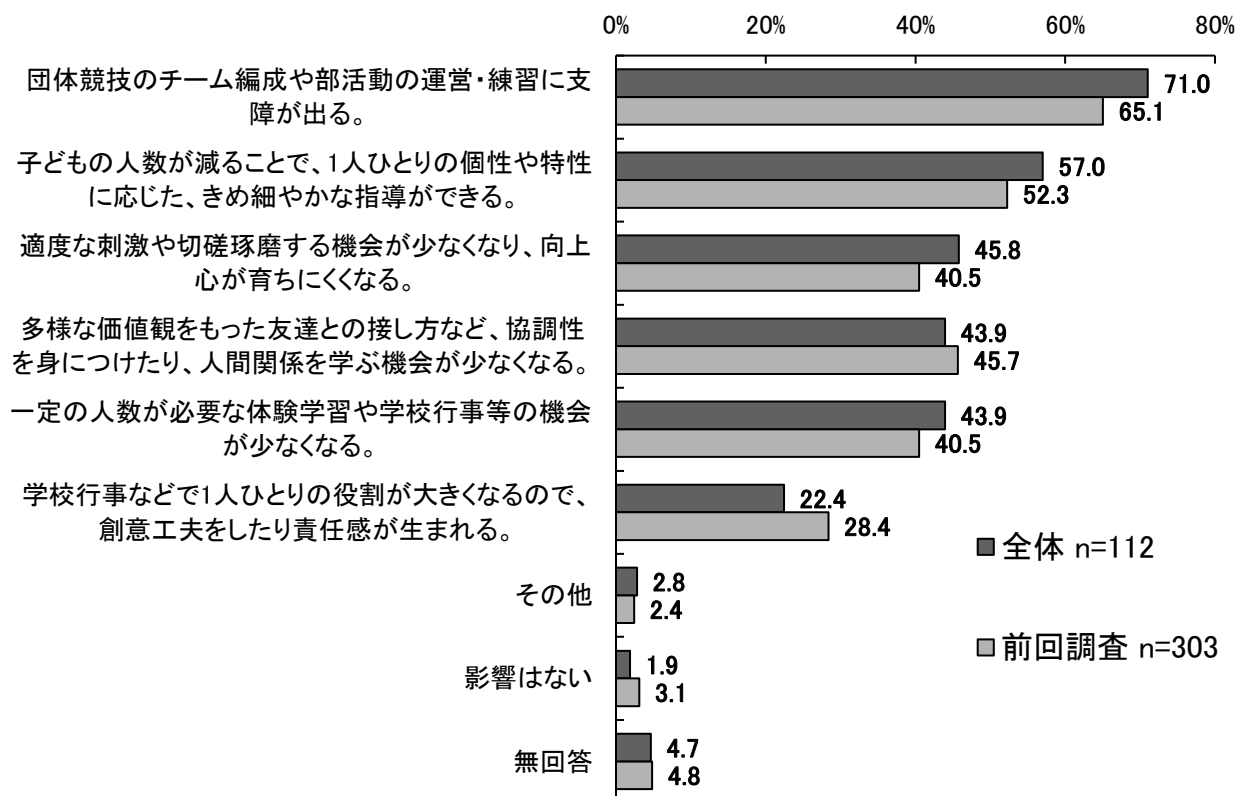
(あてはまるものすべてに○)

児童や生徒の減少が子どもに与える影響について、全体では、上位から「団体競技のチーム編成や部活動の運営・練習に支障が出る」71.0%、「子どもの人数が減ることによって、1人ひとりの個性や特性に応じた、きめ細やかな指導ができる」57.0%などの順となっています。

前回調査と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

居住地区別にみると、海部地区で「子どもの人数が減ることによって、1人ひとりの個性や特性に応じた、きめ細やかな指導ができる」が73.3%と他地区と比べて高くなっています。

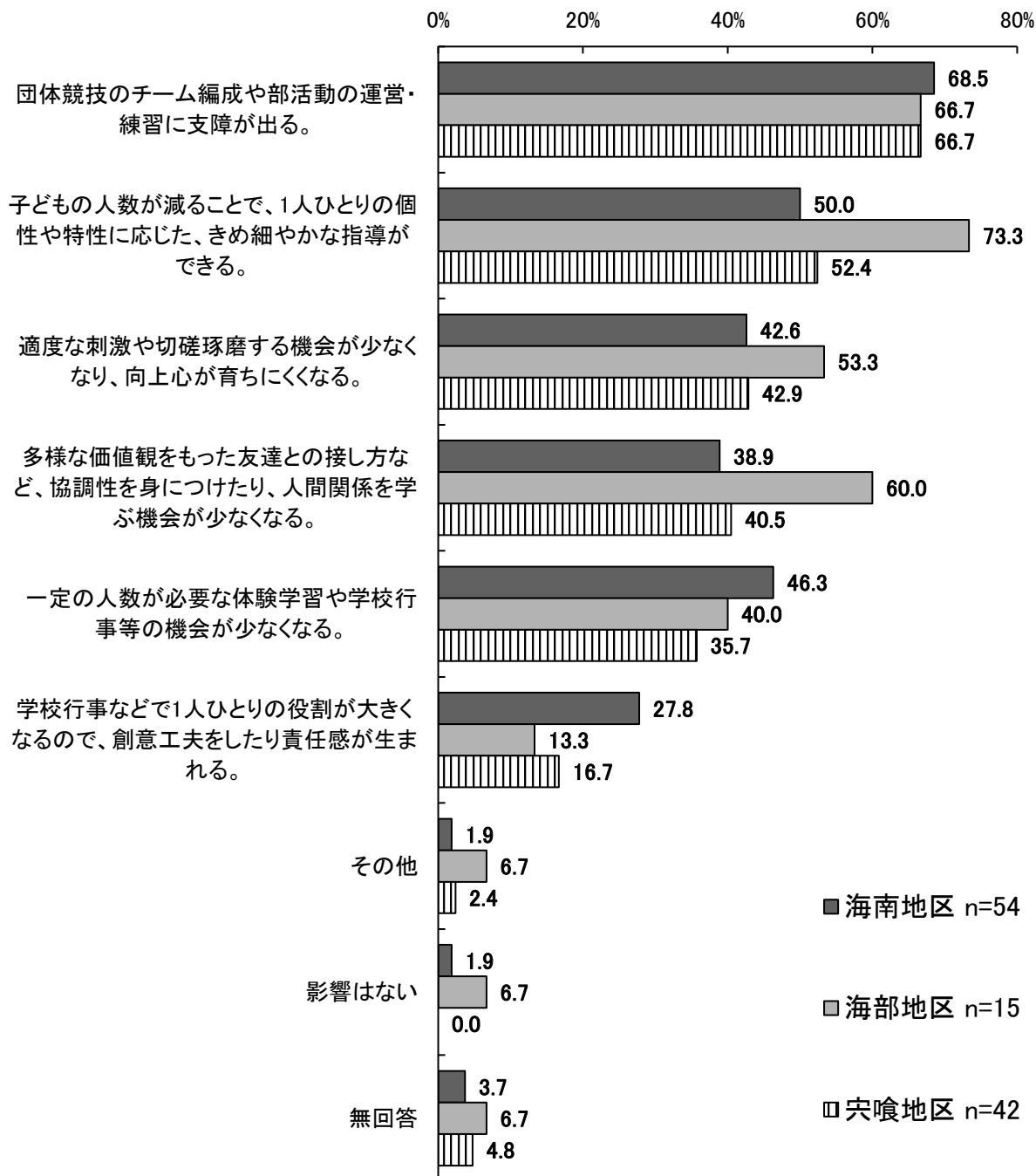
【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・ 同じ趣味や楽しめる友達などがつくりにくくなる。休日など遊ぶ機会が少なくなる
- ・ 金銭的負担
- ・ 世界が狭くなる。

【居住地区】



問 2 5 学校再編・統合に関するご意見

学校再編・統合について、ご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

(自由記述)

・ 少子化で子供の数が減っているので統合は賛成である。
・ 津波、海が近いので。高台がいい。
・ 統合は嫌です。
・ 何とも言えないのが現状です。少人数をスタンダードにするという考えもあります。
・ 再編・統合について特に反対も賛成もなく、子供たちはどちらにせよすぐに適応するとは思いますが、もし今後3校の小学校が一緒になるならば、初めから3校統合すべきかと思う。たとえば、2年生で統合、5年生で統合となるとこどもたちが大変な思いをするのでは。また、3校合同が視野に入っているならば津波が来ない高台に新校舎を考えてからの統合でもいいのではとも思う。移動が続くと環境の変化など子供が大変。
・ 特に海部小学校はICT教育に力を入れているように思いますがそれが統合により今までのような環境作りが出来るかは不安です。
・ 統合するなら津波の来ない高台に建ててほしい。スクールバスの利用できる地域を増やしてほしい。
・ 穴喰小としてずっと残ってほしい。
・ 子供が色々な子と関わるいいチャンスだがトラブルなども多くなりそう。少人数より目が届かなくなりそう。
・ 分からない。
・ 無料の送迎があるなら良いと思う。統合先の防災や避難所が充実してない。
・ 学校統合、部活動統合などするのなら自転車では大変になるためしっかり移動手段を作って欲しい。バスが足りない、バスはあるが運転手がいらないなど。共働き、ひとり親、介護、などのために。
・ 難しいと思う。
・ 広域になると、天候(大雨警報・注意報など)によって登校に差が生じるが、登校できる地域は登校。通学を控えないといけない地域はオンライン授業にするなど柔軟に対応する事で子供の授業機会の損失を回避できないでしょうか。
・ 統合はしてはいけない。 やむをえない場合は、穴喰地区の防災公園に併設。
・ 学校がなくなれば、町は廃れます。 店も、人も流れます。また、通学が大変になるのは困ります。人数減少で仕方がないとはおもいますが、 穴喰は小中一貫校でなんとか、残して欲しいです。
・ 小学校が無くなってしまいうので統合したくないが、国が進めているからどうしようもないと感じています。 統合を見越して設置を作られているようでしたら、ぜひ、夏休みなど長期休み期間に、小学生だけでなく中高生も気軽に出入りできる学習室が欲しいです。騒ぐための部屋ではなく、学習室。できれば図書館にクーラーが効いた学習室が欲しいです。現行の図書館は机の数が少なく、長時間滞在すると机を独占することになるので人間関係上、学習には使えない。また子供館は、先生方が責任感を持って管理して下さっている分、敷居が高く、特に長期休みは家庭の条件を満たさないとだめ&事前の申込が必要で、気軽に勉強しに行ける場所ではない。家が狭くて集中して学習しにくいので、勉強場所があると大変助かります。
・ 計画的に。
・ 賛成です。同級生や全校の人数はある程度多い方がいいと思います。

・学校統合について 賛成しません。何より、子供が嫌がっており、大変に不安がっています。他県も、少子化の為に学校統合問題を抱えています。 ICT を使って、各学年のカリキュラムを、全国それぞれの教室にしながら学べる仕組みを作り、先立って実践するモデル学校に出来ないだろうか。統合するのであれば、津波がこない場所に、町杉材を使い新しく木造校舎を作ってほしいです。
・統合したら、人間関係のトラブルが多そうなので、のぞまない。
・子どもが少ない学校も、リモート学習で他校と繋いで授業で発表できたら、一緒に学ぶ事ができる。
・穴喰、海南、海部小学校が統合されたら、震災が起こった時に道路寸断で親と離れ離れになる恐れがある。
・統合して地元から離れてバスなどで通学すると地元への愛着が薄れてしまう、歩いて通学しなくなると住んでいる地区での防犯、防災意識が薄れてしまうのではないかな？
・今後の児童数の推移を考えて検討してほしい。
・仕方がないと思う。
・統合してほしい気持ちはあるが現状のままだと思う
・少人数であることは一つの価値です。それを生かして一人一人に手厚い贅沢な独自の学校教育を目指してください。他県から移住して子供を通わせたいと思われるような学校になれると思います。

問 2 6 海陽町の学校教育に関するご意見

海陽町の学校教育について、ご意見やお考えをお聞かせください。(自由記述)

・担当の先生の言っていることが後先違う。相談する意味がない！
・防災に力を入れるべき町であるので子供たちに防災の事を深く知ってもらうため、消防と連携して指導する喜格を多くし、防災の体験をもっと増やしてほしい。
・親も参加しなければならない行事が多く、仕事を休まなければいけないので困る。参観日も多すぎる年に1~2回でいい。子供たち、先生だけでやれることはやってほしい。
・先生方は真剣に取り組んでくださっているので感謝している。
・子供の数が少なすぎる。遊べる場所がない。
・大切にしてくださりありがとうございます。
・様々な事に挑戦していいと思う。がもっとどんなことをしているのか親に見せてほしい。地域の人や他県への宣伝 etc も。授業参観はいつも数学や国語でもっと祭りの ICT やグローバル教育について周りは知りたいと思う。もっと個々の良さを伸ばし、やりたいことを認め、柔軟な対応ができるような個性を引き出し、伸ばせる教育を求める。特に中学校では受験に向けてなのかなかなか個を生かせる場が無かったり、周りと同じものを求められているように思う。今時の子供たちを知り、子供たちが生きる将来考えた教育をお願いしたい。今後はIT化やグローバル化が進むと思うので。
・小学校の時に比べたら中学校ではICTを活用した学習指導が減っているようなのでもう少し増やしてほしいと思います。
・いつも大切にしてくださってありがとうございます。
・個別的に考えてもらい、この学校に子供が通えて良かったと思う。
・長期休暇中の教育指導の機会をオンラインでも公民館単位でもいいので親の負担がない形で用意してほしい。県外から講師(大学生でもいい)を派遣して夏休みの課題に取り組めるなど。
・人数が少ないのは変わらないので、他の県と交流するとか、同じ年の子供達、こんなにすごいこがいるんだというような、刺激がくれたらいいなと思います。いつもありがとうございます。
・熱心に取り組んで下さっていると感じています。ありがとうございます。
・最近の学校教育は自由度が増していて(ラーケーション等)良い面もある一方で、スマホを持つことで起こるトラブル等も増えていると思う。家庭も放任主義が増えているように感じる。子どもたちがまだ善悪が分からないうちに、自由に子ども同士で色んな遊びをしたりして、トラブルに巻き込まれないか心配。先生方もなかなか家庭の方針に立ち入ることは難しいと思いますが、ある程度 tiktok 等の SNS を制限する等できることは無いか、模索して頂けると有難いです。
・教員不足。
・地域とのつながりを増やして、地域の一部として子どもたちが活躍できたらよい。
・いつもありがとうございます。
・自然や地域を生かした体験が多くて五感を育めるので、今の時代にはとてもありがたいです。子どもが少ないので、行事においてもみんなが責任をもって主体的に役割を遂行する姿をみていて良い経験になっていると感じています。
・教員の数は充実している。
・いろいろと考えてくれるので、これからも子どものためによりしく願います。
・高学年も5時間授業にして夏休みを短くしてほしい。

- ・小中学校共に言えますが、特に中学校の価値観が古いです。これからの世界が日本がどうなっていくかをよくよく研究した上で、学校の在り方、授業のやり方、生徒への指導内容全般をもう一度熟考して練り直してほしいです。高い水準で長い視野で子どもの成長を考えましょう。矯正するのではなく、どうしたらそれぞれの子どもを最大限伸ばしていけるのか、生きる力を育むとはどういうことか。子どもを従わせるのではなく、自ら考える力、やりたいという気持ちを育てていきたいです。